RICOH





中判デジタルー眼レフカメラ **PENTAX 645 Z**

使用説明書





カメラの正しい操作のため、ご使用前に 必ずこの使用説明書をご覧ください。

<u>はじめに</u>

このたびは、当社中判デジタル一眼レフカメラPENTAX 645Zをお 買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を十分活 用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。 また本書をお読みになった後は、必ず保管してください。使用方法が わからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役 に立ちます。

使用できるレンズについて

このカメラで使用できるレンズは、基本的にD FA645/FA645また は絞り A (オート) 位置のある645レンズです。それ以外のレンズや アクセサリーを使用するときは、本書のp.28をご覧ください。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権 法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示 物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している 場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている 画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いた だけませんのでご注意ください。

商標について

Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Macintosh、Mac OS、QuickTimeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

Intel、Intel Core、PentiumはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。

Eye-Fi、Eye-Fi *connected*、およびEye-FiロゴはEye-Fi,Inc.の登録商 標です。

この製品はAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の許可のもと、DNG技術を取り入れています。

DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ 社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米 国およびその他の国々におけるHDMIライセンシングの商標または登 録商標です。

SILKYPIXは、株式会社市川ソフトラボラトリーの登録商標です。 その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。 本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力および対応ソフトウェア での画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映さ せることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対 応プリンターでは、一部機能が反映されません。

[PRINT Image Matching] [PRINT Image Matching II] [PRINT Image Matching III] に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が 所有しています。

AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます)
- (ii) 個人利用の消費者によりエンコードされた AVC ビデオ、または AVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給 者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライ センスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。 http://www.mpegla.comをご参照ください。

本機を使用するにあたって

- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、強い静電気 が発生する場所では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイ ズ混入等、カメラが誤作動を起こす場合があります。
- ・ 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、 0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に 基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されるこ とを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近 接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明 書に従って、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マー クの内容については特に注意をしてお使いください。

このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

本体について

▲ 警告

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高 電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部 分に手を触れないでください。感電の危険があります。
- 太陽などの強い光に向けての撮影や、レンズキャップを外した 状態で直射日光のあたる場所に放置しないでください。カメラの故障や火災の原因になる場合があります。
- レンズを太陽に向けてのぞかないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダプターを取り外した上、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



 本機には、使用していると熱を持つ部分があります。その部分 を長時間持ち続けると、低温やけどを起こすおそれがあります のでご注意ください。

- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが 生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をや め、医師の診察を受けてください。

バッテリー充電器とACアダプターについて

▲ 警告

- バッテリー充電器と AC アダブターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因 となります。
- 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、弊社修理センター、また はお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・ 感電の原因となります。
- ・使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグを外し、使用を中止し てください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。

⚠ 注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理に曲げたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、触ったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原 因となります。
- バッテリー充電器D-BC90Pで充電式リチウムイオンバッテリー D-LI90P以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテ リーを充電しようとすると、発熱や爆発、充電器の故障の原因と なります。

バッテリーについて

▲ 警告

バッテリーの液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

- 本機では、決められたバッテリー以外は使用しないでください。
 バッテリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの原因となります。
- 万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに 十分注意してください。
- バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が触れないようにご注意ください。

- バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。 爆発や発火の原因となります。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を 起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流して ください。
- 発熱・発火・破裂のおそれがありますので、バッテリー使用の 際は、下記注意事項を必ずお守りください。
 - 1. 専用充電器以外では絶対に充電しないこと。
 - 2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
 - 3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場 所に

▲ 警告

- カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
 - 1. 製品の落下や不意の動作により、傷害を受けるおそれがあります。
 - 2. ストラップを首に巻き付け、窒息するおそれがあります。
 - 3. バッテリーや SD メモリーカードなどの小さな付属品を飲み 込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、 直ちに医師にご相談ください。

取り扱い上の注意

お使いになる前に

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影(結婚式、旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体(SDメモリーカード)などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証はご容赦ください。

バッテリー・充電器について

- バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になる ことがあります。特に高温下での保管は避けてください。
- バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の 電流が流れて過放電になり、バッテリー寿命を縮める原因とな ります。
- 充電は使用する当日か前日にすることをお勧めします。
- 本製品に付属しているACコードは、バッテリー充電器D-BC90P 専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。

持ち運びとご使用の際のご注意

 高温多湿のところは避けてください。特に車の中は高温になり ますのでカメラを車内に放置しないでください。

- ・ 強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オート バイ、車、船などの振動からは、クッションなどでくるんで保 護してください。
- カメラの使用温度範囲は-10~40°Cです。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば 正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、 これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中 に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨 や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- 破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く 押さないでください。
- 三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶 剤は使用しないでください。
- レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のブロアーは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないでください。
- CMOSセンサーの清掃につきましては、できるだけ弊社修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。(有料)
- 高性能を保つため、1~2年ごとに定期点検にお出しいただくこ とをお勧めします。

保管について

- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また 高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥 した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してく ださい。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用・保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用・保管は避けてください。

SDメモリーカードについて

SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録できなくなり、カメラやパソコンで削ライトプロテクト除やフォーマットができなくなり、スイッチます。



- カメラを使用した直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合があります。
- SDメモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。 また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。

- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる 場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータにつ いては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご 了承ください。
 - 1. 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
 - 2. SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いた とき
 - 3. 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
 - 4. SDメモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、 バッテリーを抜いたとき
- 長期間使用しない場合は、保存したデータを読むことができな くなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期 的にバックアップを取るようにしてください。
- SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みの ものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様 相談センターにお問い合わせください。
- 未使用品や他のカメラで使用した SD メモリーカードは、必ず フォーマットしてからご使用ください。
- フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、 データを再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリー カード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専 用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に 消去することをお勧めします。
- SDメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理して ください。

Eye-Fiカードについて

- 本機は無線 LAN 機能を内蔵した SD メモリーカード「Eye-Fi カード」が使用できます。
- 無線LANで画像を転送するには、アクセスポイントの利用とインターネット環境が必要です。詳しくは、Eye-Fiのホームページを参照してください。(http://www.eyefi.co.jp)
- Eye-Fi カードは、最新のファームウェアに更新して使用してく ださい。
- 航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所 では、Eye-Fiカードを使用しないか、「動作モード」の設定を 「OFF」にしてください。
- Eye-Fi カードの使用が認められているのは、カードをご購入された国のみです。使用する国の法律を遵守してください。
- このカメラにはEye-Fiカードの通信機能をオン/オフする機能 がありますが、Eye-Fiカードのすべての機能を保証するもので はありません。
- Eye-Fiカードの使用方法は、Eye-Fiカードの使用説明書を参照 してください。
- Eye-Fi カードに関する不具合等は、カードの製造元へお問い合わせください。



本機には『使用説明書』(本書)と『メニューリファレンス』 の2冊のマニュアルが付属しています。用途に合わせて使い分 けてください。

使用説明書

使用前の準備やカメラの基本操作について掲載しています。ページ番号は1~106で表示されています。

メニューリファレンス

■ を押して設定する機能の詳細と、製品仕様を 掲載しています。使用説明書を読んで基本的な操 作を理解したら、外出時などにメニューリファレ ンスだけを予備的に持ち歩くと便利です。ページ 番号はR1~R56で表示されています。

また、次のマークで関連する説明の参照先を示しています。

← 同じマニュアル内を参照

🛄 別冊のマニュアルを参照

使用説明書 目次

ご注意へにさい	マニュアルの構成	F
	ご注意くたさい… 取り扱い上の注意	

1 お使いになる前に

主な同梱品の確認	10
各部の名称と機能	11
ボタン・ダイヤル・レバー	
画像モニターの角度調節	14
相影はおのまこ	1.5
御影情報の衣示	
諏ジ 報 の 衣 示	
諏ジ 報 0 衣 示	

2準備編

25

9

ストラップの取り付け	26 26
レンズ適応表	28
バッテリーのセット	30
バッテリーの充電	30
バッテリーのセット	30
ACアダプターの使用	32
メモリーカードのセット	33
電源	34
初期設定	34
言語設定	
日時設定	35
メモリーカードのフォーマット	36

視度調整	
大型アイカップの取り付け	
動作確認	
撮影	
画像の確認	
機能の設定方法	40
ダイレクトキーで設定	41
コントロールパネルで設定	41
メニューで設定	42

43

3撮影編

フォーカス	
フォーカスモードの選択	
露出設定	47
	ر بـ ۸7
S 感じていた。 S	47 47
露出モードの切り替え	
AEロック	
動面撮影	51
動画の車生	52
ショロットフェ	
マニユアルホワイトハフノス 会泊曲	
ドライブモード	56
連続撮影	56
セルフタイマー	
リモコン	b/
多里蕗出	
インターハル 軍家	
インターバル両両	
マング バル動画 霞出ブラケット	
ニューシッシュ	
フラッシュモード	64 64
ノフラノエの取り回り	

		フラッシュモードの設定	65
	プレビ	ジラジジュ _回 心衣	67
		 プレビュー方法の設定	67
	カスタ	゚ ムイメージ	68
		撮影済み画像の設定値登録	69
4	再生	・加工編	71
	再生機	能の設定方法	72
	1画像	表示	73
		画像の消去	73
	ᆍᄮᆇ	払大表示	73
	冉玍万	法の変更	74
		後 数 ២ 隊 を 衣示	74
		る 最 影 日 別 表 示 … … … … … … … … … … … … …	
		スライドショウ	70
		画像回転	76
	画像の	(1) 画像回転	76 76 77
	画像の	(○) 画像回転	76 76 77
	画像の	() 画像回転	76 76 77 77 77
	画像の	マンテレンシン 画像回転 画像のコピー 画像のサイズ変更 色モアレ補正 デジタルフィルター	76 76 77 77 77 78 79
	画像の	(ス) (「1) (」) () 画像回転)加工・編集 画像のコピー 画像のサイズ変更 色モアレ補正 デジタルフィルター 動画の編集	76 76 77 77 77 78 79 81
	画像の	スティーション 画像回転 か加工・編集 画像のコピー 画像のサイズ変更 色モアレ補正 デジタルフィルター 動画の編集 RAW展開	
	画像の プロテ	(○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○)	76 77 77 77 77 78 79 81 82 82
	画像の プロテ AV機	スシートン 画像回転 D加工・編集 画像のコピー 画像のサイズ変更 色モアレ補正 デジタルフィルター 動画の編集 RAW展開 *クト 器との接続	76 77 77 77 78 79 81 82 83 84
	画像の プロテ AV機	A → F → F → F → F → F → F → F → F → F →	
5	画像の プロテ AV機 パン	A (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	
5	画像の プロテ AV機 パンコ	A (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	
5	画像の プロテ AV機 パソコ	 ステム環境 (1) シーンシーンシー (1) 「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	

付属ソフトウェアの利用	
インストール	
Digital Camera Utility 5の画面	90

6付録

MEMO

お使いになる前に

主な同梱品の確認	 10
各部の名称と機能	 11
撮影情報の表示	 15

主な同梱品の確認

本機には以下の付属品が同梱されています。 カメラをお使いになる前に、付属品に不足がないかお確かめください。



ホットシューカバー FK (カメラ装着)



ボディマウントキャップ 645 (カメラ装着)



バッテリー充電器 D-BC90P



AC⊐−ド D-CO2J

三角環・キズ防止カバー

(カメラ装着)



使用説明書(本書)



メニューリファレンス



保証書



ストラップ 0-ST150

標準アイカップ

(カメラ装着)



充電式リチウムイオンバッテリー D-LI90P





大型アイカップ 645 O-EC107

1 お使いになる前に

各部の名称と機能



※ 正面・背面の図は、ホットシューカバー Fkを外した状態のイラストです。

🕜 注意

- チルト機構付き画像モニターは、前後に角度が変えられます。左右には動きませんので、ご注意ください。可動部に強い力やひねるような力を加えたり、 画像モニターをファインダー部にぶつけたりしないように注意してください。使用しないときは、可動部を閉じてください。
- ・ 端子カバーが正しく閉まっていないと、防塵・防滴効果が損なわれますのでご注意ください。

11

お使いになる前に

| ボタン・ダイヤル・レバー





① シャッターボタン

画像を撮影します。(p.38) 再生モード時は、半押しで撮影モードに切り替わります。

ISOボタン(50)
 ISO感度を変更するときに押します。(p.47)

- 3 露出補正ボタン(図) 露出補正値を変更するときに押します。(p.50)
- ④ 電源レバー
 電源のON/OFFとプレビューをします。(p.34、p.67)
- (5) 前電子ダイヤル (▲▲) 露出などの設定値を変更します。(p.49) メニューが表示されているときは、メニューの種類を切り替えま す。(p.42) 再生モード時は、画像を切り替えます。(p.39)
- 6 レンズ取り外しボタン レンズを取り外すときに押します。(p.26)
- ⑦ 測光モード切替レバー
 測光モードを切り替えます。(p.47)
- 8 Lockボタン(Lock)
 電子ダイヤルやボタンの操作を一時的に無効にして、撮影時の誤 操作を防ぎます。(ロ p.R43)
- ⑩ 露出ブラケットボタン(●)
 露出ブラケット撮影を設定します。(p.62)
- RAW/Fxボタン(配) 機能を割り当てて使用できます。(1) p.R20)
- セードダイヤルロックボタン
 モードダイヤルを回すときに押します。(p.49)
- ③ モードダイヤル 露出モードを切り替えます。(p.49)
- ④ 静止画/動画切替レバー
 △(静止画撮影)モードと、
 □ (静止画撮影)モードと、
 □ (p.38)

お使いになる前に

15 後電子ダイヤル (🐨)

露出などの設定値を変更します。(p.49)

メニューが表示されているときは、ページを切り替えます。 (p.42)

コントロールパネルが表示されているときは、設定を切り替えま す。(p.41)

再生モード時は、画像を拡大/複数画像表示します。(p.73、 p.74)

16 AFモード切替ダイヤル

オートフォーカス(AF.S/C)を切り替えます。(p.44)

- ⑦ ミラーアップダイヤルミラーアップ撮影を行います。(p.63)
- 18 照明ボタン(公) 表示パネルを点灯します。(p.23)
- 19 AEロックボタン(AED)

撮影前の露出値を記憶します。(p.50) 再生モード時は、直前に撮影したJPEG画像のRAWファイルを 追加保存します。(p.39)

20 AFボタン(A)

シャッターボタン半押しの代わりにピントを合わせることができます。(p.44)

21 OKボタン(33)

メニュー/コントロールパネルが表示されているときに、選択した項目を決定します。

22 十字キー(▲▼◀▶)

ドライブモード/フラッシュモード/ホワイトバランス/カスタ ムイメージの設定画面を呼び出します。(p.41) メニュー/コントロールパネルが表示されているときは、カーソ ルの位置や項目を変更します。 再生モードの1画像表示で▼を押すと、再生モードパレットを表 示します。(p.72) 拡大表示中や測距点設定時などの領域を設定しているときは、2 つのキーを同時に押すと、斜めに移動ができます。

② 測距点移動/カードスロット切替ボタン(國/団) 測距点を移動できる状態にします。(p.45) 再生モード時は、画像を再生するメモリーカードスロットを切り 替えます。(p.39)

24 グリーンボタン(O)

設定中の値をリセットします。 ISO感度設定中は、ISO AUTOに変更します。(p.47)

- ③ ライブビュー/REC/消去ボタン(Ⅲ/◎/⑥) ライブビューを表示します。(p.39)
 ☆ モードのときは、撮影の開始/終了をします。(p.51) 再生モード時は、画像を消去します。(p.73)
- (MED)
 画像モニターの表示を切り替えます。(p.15、p.19)

ボタンとダイヤルの操作

図と ○ などボタンと電子ダイヤルの両方を操作して設定を変更する場合、次のどちらの方法でも操作できます。

操作	設定値の確定
ボタンを押しながらダイヤルを 回す	ボタンから指を放す
ボタンを1回押して指を放して からダイヤルを回す	ボタンをもう一度押す、または測 光タイマーオフ

本書では以降、「ボタンを押しながらダイヤルを回す」操作で説明します。

なお、Lock / ABDの操作は、ボタンを押しながら を回す操作のみができます。

画像モニターの角度調節

1 右手でカメラのグリップを持ち、左手で画像モニター上部を持つ



2 止まるところまでゆっくりと 手前に倒す



3 画像モニター下部を持って上 方向に持ち上げる



4 角度を調節する

収納するときは手順3→2の順に閉じる



- 可動部に強い力を加えたり、ひねったりしないでください。
- 画像モニターをファインダー部にぶつけないように注意してください。

撮影情報の表示

画像モニター

カメラの状態によって、画像モニターにさまざまな情報が表示 されます。

撮影時

本機での撮影は、ファインダーをのぞいて撮影する方法と、画 像モニターを見ながら撮影する方法があります。 ファインダーを使った撮影では、画像モニターのステータスス

ファインターを使った撮影では、画像モニターのステーダスス クリーンとファインダー内の表示を確認しながら撮影します。 ファインダーを使わない場合は、画像モニターにライブビュー 画像を表示しながら撮影します。

ステータススクリーンやライブビュー画像などが表示されていて、すぐに撮影が可能な状態を「撮影待機状態」といいます。撮影待機状態で (MPO)を押すと「コントロールパネル」が表示され、設定が変更できます。(p.17) コントロールパネル表示中に (MPO)を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。(p.18)



1

ステータススクリーン P USERI * MUP © HUR OAFS ? SH (WA) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 ~F 5.6 **U**1/4000 13 14 12 12 JS0102400 15 12 20 12 C 21 22 23 12 🔒 Lock 🗐 2000 💿 17 18 19 24 ▶ D JPEG9999 F + 1.0 2526 27 28 ☑ JPEG9999 000 G1A1 2526 27 29 30 ISO AUTO 1 露出モード (p.48) **17** キー操作ロック (**D** p.R43) **2** AEロック (p.50) 18 多重露出/インターバル撮影 3 ミラーアップ (p.63) 4 著作権情報添付 19 180°回転記録 (🛄 p.R33) (**D** p.R15) 5 HDR撮影(□ p.R16) 20 ドライブモード (p.56) 6 測光モード (p.47) 21 ホワイトバランス (p.53) **7** フォーカスモード (p.44) 22 測距点 (p.45) 8 無線LAN通信状態 23 カスタムイメージ (p.68) (🛄 p.R34) 9 GPS測位状態(□ p.B18) 24 フラッシュモード (p.65) 25 メモリーカードスロット 10 Shake Reduction (p.63) 26 記録形式 (p.R15) **11** バッテリー残量 (p.31) 12 電子ダイヤル操作ガイド 27 撮影可能枚数 28 フラッシュ光量補正 (p.65) 13 シャッター速度 29 ホワイトバランス微調整

- 14 絞り値
- 15 ISO感度 (p.47)
- 16 露出補正 (p.50) / 露出ブラケット (p.62)



(p.53)

30 操作ガイド

13 17 14-18 1 +1 7 EV 19 15 20 21 22 23 24 25 26 27 28 1 露出モード (p.48) 2 フラッシュモード (p.65) **3** ドライブモード (p.56) 4 ホワイトバランス (p.53) 5 カスタムイメージ (p.68) 6 HDR 撮影(回 p.R16) 7 著作権情報添付 (**D** p.R33) 8 測光モード (p.47) **9** GPS測位状態(**□** p.R18) 23 絞り値 10 Shake Reduction (p.63) /Movie SR (p.R25) **11** バッテリー残量 (p.31) 12 無線LAN通信状態 (**D** p.R34) 13 温度警告 14 キー操作ロック (🛄 p.R43) 15 ヒストグラム **16** 電子水準器 (左右の傾き) (p.23)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

16

ライブビュー

12-

Ø 29 **17** 電子水準器(前後の傾き) (p.23)

- 18 露出補正 (p.50)
- 19 180°回転記録 (**D** p.R15)
- 20 操作ガイド 多重露出/インターバル撮影 /インターバル合成撮影回数 **21** AEロック (p.50)
- 22 シャッター速度
- 24 ISO感度 (p.47)
- 25 露出バー
- 26 記録形式 (D.R15)
- 27 メモリーカードスロット
- 28 撮影可能枚数
- 29 コントラストAF「顔検出」 の顔検出枠 (p.46)

- メモ
 - ●3メニュー「ライブビュー」で、ライブビュー中に表示する情 報の設定ができます。(p.R19)

コントロールパネル 機能名称 14 記録形式 (🛄 p.R15) 2 設定 15 JPEG記録サイズ・画質 ロモード (D p.R15) / 動画記録サ 3 メモリーカードスロット 4 撮影可能枚数/記録可能時間 感度AUTO設定 ▶∎12345 3 4 16 高感度NR (**□** p.R17) 調整範囲 12345 3 4 5 ISO感度(p.47)/感度 **17** 長秒時NR (**□** p.R17) 100-3200 6 7 OFF ON OFF CON HD) OFF 8 9 10 11 12 18 測距点切替 (p.45) / コン 6 ハイライト補正 14 15 16 17 → **B** ISONR © NR Altro 13 JPEG L& トラストAF (**D** p.R18) (**D**, R16) 18 19 露出設定(**□** p.R24) **7**シャドー補正(**□** p.B16) 2014/05/05 10:30 AM → 25 24 20 フォーカスアシスト 8 ディストーション補正 ライブビュー撮影時 (**D** p.R18) (**D** p.R16) 21 フレームレート 9 倍率色収差補正 ► 12345 感度AUTO設定 3 4 (**D** p.R24) (**D** p.R16) 調整範囲 12345 3 4 **22** 録音レベル (**ロ** p.R24) 100-3200 алто Алто 6 7 10 周辺光量補正(D p.R16) <u>П</u>ОN OFF CON 9 10 11 12 HD) OFF 23 Movie SR (p.R25) **11** 回折補正(**□** p.R16) → **1** JPEG 13 14 15 16 17 24 現在の日時 12 HDR撮影 (印 p.R16) (@) 18 20 25 目的地 (**D** p.R28) 13 カードスロット設定 2014/05/05 10:30 AM ↔ 24 25 (**D** p.R15) .≌ モード メモ \bigcirc 露出設定 プログラムAE ▶■1:23'45" 3 4 ₽1:23'45" 3 4 カメラの設定状況によって、選択できる項目が異なります。 🔐 🔐 🛞 19 6 7 18 20 15 21 22 12 コントロールパネルは何も操作しないと、1分で撮影待機状態に → 🖬 📶 30p 👱10 HDF 13 23 戻ります。 ・ ▲] メニュー「画面表示」の「配色」で、ステータススクリーン 2014/05/05 10:30 AM >> 24 25 /コントロールパネル/メニューカーソルの配色が変更できま

お使いになる前に

17

撮影情報表示選択

コントロールパネル表示中に (MEO) を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。 ◀▶ で選択して ^{OD}を押します。

● ファインダー撮影時

1

ステータス スクリーン	ファインダー撮影時の設定を表示 (p.16)	
電子水準器	カメラの傾きを表示。 下側に左右方向、右側に 前後方向の傾きを表示。 傾きが検出できないと きは、バーグラフの両 端・中央が赤で点滅 何も操作しないと、1分 で消灯	(例) 左1.5°(黄) 前後傾きなし(緑)
画像モニターオフ	画像モニターを非表示	
電子コンパス	現在地の緯度・経度・高度とカメラの向き(方位)、 協定世界時を表示。電源を入れ直すと、ステータスス クリーンに戻る 別売のGPSユニットを装着し、GPSユニットが動作 しているときのみ選択可能(p.96)	

● ライブビュー撮影時

標準情報表示	画像とライブビュー撮影時の設定を表示(p.16)
情報表示なし	露出モードやドライブモードなど、一部のアイコンを 非表示

縦位置のとき

カメラを縦位置に構えると、ステータススク リーンとコントロールパネルの表示も縦にな ります。縦画面を表示したくない場合は、▲1 メニュー「画面表示」の「自動回転」をオフに 設定します。(□ p.R30)



再生時

再生モードの1画像表示では、撮影画像と撮影時の情報が表示 されます。

(MEO)を押すと、1画像表示の表示情報を変更できます。 ◀▶ で 選択して∞を押します。



標準情報表示	画像・記録形式・露出値・操作ガイドを表示
詳細情報表示	撮影時の詳細情報を表示(p.20)
ヒストグラム表示	画像と輝度ヒストグラムを表示(p.21) 動画のときは選択不可
RGBヒストグラム表示	画像とRGBヒストグラムを表示(p.21) 動画のときは選択不可
情報表示なし	画像だけを表示

- - ます。
 - 電源を入れ直して再生モードにすると、再生情報表示選択で選択 した画面が表示されます。 ▲4メニュー「モードメモリ」の「再 生情報表示」をオフに設定すると、電源を入れ直したときに「標 準情報表示」から表示されます。(□ p.R22)
 - ▶ 1メニュー 「グリッド表示」で、グリッドを表示することがで きます。(**□** p.R26)
 - ▶1メニュー「白とび警告」で、画像内で白とびした部分を赤で 点滅表示することができます。(□ p.R26)

詳細情報表示

静止画



2	3 4	5 6	7	8
	9 10	11	12	37
13	14 15	18	20	
16	17	19	20	
21	22	23 24 2	5 26 27	38
28 29	30 31 32	33	34	
35	3	36		

動画

- 🎢 📲 🕼 🖻 📼 🛙 100-	0001
0 10'10"	20
1/125 F8.0 🦓	O±0
1501600 🗾 0.0 🔘	_0±0-
5000K 500	0±0
Movie 📶 HD 30p 🕼 🕬 🖓 🖏 55mm	0±0
2014/05/05 10:30 AM	⊜±0

1	3	4 5 6	7	8
	9	39		37
13	14	40		
16	17	19		
21	22			38
28 29	41 31	32 33	34	
36				

↓ ↑▲▼

2ページ目

У Р	ີ 🗟 🔤 🛙 100-0001
	🛆 0m 🛛 🕐 123°
<u>2014/</u> 05/05	
) 10:00:00	()) W140°02.000'
ABCDEFGHIJK	LMNOPQRSTUVWXYZ
ABCDEFGHIJK	LMNOPQRSTUVWXYZ

2 1	3	5 6 7 42	8 43
46		4	4 5
48			
49			

1	撮影画像	26	回折補正(🋄 p.R16)
2	回転情報(🋄 p.R41)	27	フリンジ補正(p.82)
З	露出モード(p.48)	28	記録形式(🋄 p.R15)
4	デジタルフィルター(p.79)	29	JPEG記録サイズ
	/HDR 撮影(🋄 p.R16)		(🛄 p.R15)/動画記録サ
5	無線LAN転送済み		イズ(🋄 p.R24)
	(🛄 p.R34)	30	JPEG画質(🛄 p.R15)
6	プロテクト(p.83)	31	ハイライト補正
7	メモリーカードスロット		(🛄 p.R16)
8	フォルダー NoファイルNo.	32	シャドー補正(🋄 p.R16)
	(🛄 p.R31、 🛄 p.R33)	33	Shake Reduction (p.63)
9	ドライブモード(p.56)		/Movie SR (🛄 p.R25)
10	フラッシュモード(p.65)	34	レンズ焦点距離
11	フラッシュ光量補正(p.65)	35	色空間(🋄 p.R41)
12	色モアレ補正(p.78)	36	撮影日時
13	シャッター速度	37	画像仕上(p.68)
14	絞り値	38	カスタムイメージパラメー
15	露出ブラケット(p.62)		ター
16	ISO感度 (p.47)	39	記録時間
17	露出補正(p.50)	40	音量
18	フォーカスモード(p.44)	41	フレームレート
19	測光モード (p.47)		(🛄 p.R24)
20	測距点 (p.45)	42	高度(🋄 p.R18)
21	ホワイトバランス (p.53)	43	方位(🛄 p.R18)
22	ホワイトバランス微調整	44	緯度(🋄 p.R18)
_	(p.53)	45	経度(🋄 p.R18)
23	ディストーション補正	46	協定世界時
	(D p.R16)	47	情報改ざん警告

24 倍率色収差補正 (🛄 p.R16)

25 周辺光量補正(1) p.R16)

- 47 情報改ざん警告
- 48 撮影者名 (p.R33)
- 49 著作権者名(1 p.R33)

ヒストグラム表示/RGBヒストグラム表示

▲▼でヒストグラム表示とRGBヒストグラム表示が切り替え られます。

5

Z+0.3

11

12 13 14



<u>ファインダー</u>



- 1 AFフレーム
- 2 スポット測光フレーム (p.47)
- 3 測距点 (p.45)
- 4 露出バー 露出補正値、または**M**∕X モード時の適正露出値との差 を表示 電子水準器オン時:カメラの 傾きを表示
- 5 合焦マーク
- 6 シャッター速度
- 7 絞り値

- 8 ISO感度 (p.47)
 - 電子水準器オン時:M/X モード時の適正露出値との差 を表示
- 9 フラッシュ発光 点灯:発光可能 点滅:フラッシュ推奨、また
 - は充電中
- 10 フラッシュ光量補正 (p.65)
- 11 SD1記録形式 (**D** p.R15)
- 12 SD1スロット
- 13 SD2記録形式 (D p.R15)
- 14 SD2スロット

- **15** AEロック (p.50) 19 測距点移動 (p.45) 16 テザー撮影 20 測光モード (p.47) 17 Shake Reduction (p.63) 18 キー操作ロック
 - 21 ISO/ISO AUTO
 - (🛄 p.R43)

● 露出バー

M / X モード時は、適正露出値との差 が表示されます。露出バーの表示限界 を超えた場合は、+/-が点滅します。



P/Sv/Tv/Av/TAv 王一ド時に 設定した値で適正露出が得られないと きは、追従できない自動調整値が点滅 します。

N112 125 F58 200 new+ SD1 SD2

メモ

- シャッターボタンを半押しにすると、測距点が赤点灯(スーパー) インポーズ) します。スーパーインポーズをオフにするときは C2 メニュー [14. スーパーインポーズ] で設定します。(**ロ** p.R40)
- 16は、別売のテザー撮影用ソフトウェアを使用し、本機とパソコ ンが接続されたときに表示されます。

お使いになる前に

表示パネル



- 1 ホワイトバランス (p.53)
- 2 キー操作ロック (□ p.R43)
- 3 多重露出 (p.58)
- 4 HDR撮影(DPR16)
- **5** ドライブモード (p.56)
- 6 シャッター速度/測距点 (p.45)
- 7 絞り値
- 8 電子ダイヤル
- 9 露出バー/電子水準器/露出 補正 (p.50)
- **10** バッテリー残量 (p.31)
- 著作権情報添付 (□ p.R33)
- 12 フラッシュ光量補正 (p.65)
- 13 テザー撮影
- 14 ISO感度 (p.47) / 露出補 正値 (p.50)

- 15 無線LAN通信 (🛄 p.R34)
- 16 GPS測位状態(III p.R18)
- **17** 露出ブラケット (p.62)
- 18 JPEG記録サイズ・画質 (□ p.R15)
- 19 ミラーアップ (p.63)
- 20 SD1スロット記録形式 (□ p.R15) /撮影可能枚 数(最大表示「1999」)
- 21 SD2スロット記録形式
 (□ p.R15) /撮影可能枚数(最大表示「1999」) / USB接続モード
 (□ p.R30) /センサークリーニング(□ p.R37)
 PcS: MSCモード
 - PcP:Ptpt-K
 - Cln:センサークリーニング 中

メモ

- ●を押すと、表示パネルのバックライトが点灯します。 (□ p.R20)
- 13は、別売のテザー撮影用ソフトウェアを使用し、本機とパソ コンが接続されたときに表示されます。

電子水準器

左右方向のカメラの傾きを電子水準器で確認できます。電子水 準器は、ファインダー内/表示パネルの露出バーまたはライブ ビュー画面で表示できます。

電子水準器を表示するかどうかは、▲3メニュー「電子水準 器」で設定します。(🏨 p.R19)





水平時(傾き0°)





左下がりに4.5°傾いているとき





縦位置に構えて右下がりに3°傾いているとき

MEMO



ストラップの取り付け	26
レンズの取り付け	26
バッテリーのセット	30
メモリーカードのセット	33
電源	34
初期設定	34
視度調整	37
動作確認	38
機能の設定方法	40

ストラップの取り付け

1 ストラップの先端を三角環に 通す



2 ストラップ先端を留め具の内 側に固定する



レンズの取り付け

- 1 カメラの電源がOFFになっていることを確認
- 2 ボディマウントキャップ①と レンズマウントキャップ②を 外す

レンズ取り外しボタン③を押しなが ら、ボディマウントキャップを外す



3 カメラとレンズのマウント指標(赤点、④)を合わせ、レンズを右に回す

このときレンズ取り外しボタンは押 さない



取り外すとき

レンズ取り外しボタンを押しながら レンズを左へ回す



準備編





🕜 注意

- レンズの取り付け/取り外しは、ゴミやほこりの少ない場所で 行ってください。
- カメラ本体にレンズを取り付けていないときは、必ずボディマウントキャップを装着してください。
- ・取り外したレンズには、必ずレンズマウントキャップとレンズ キャップを取り付けてください。
- カメラのマウント内に指を入れたり、ミラーを触ったりしないで ください。
- カメラやレンズのマウント部分には、レンズ情報接点があります。
 この部分にゴミや汚れが付いたり腐食が生じると、電気系統のトラブルの原因になる場合があります。もし汚れたときは、弊社修理センターにご相談ください。
- 本製品に他社製レンズを使用されたことによる事故、故障、不具 合などにつきましては保証いたしかねます。

準備編

レンズ適応表

D FA645レンズ(デジタル専用)を使用した場合、本機のすべての機能が使用できます。当社製フィルム中判カメラ用レンズを 使用した場合は、以下の制限があります。

レンズ	A645	FA645	A645/FA645	A645/FA645	67
アクセサリー 機能	レンズ単	单体使用	+リアコンバーター A +オート接写リングA	+ ヘリコイド 接写リング ^{*1}	+ 67レンズ用 アダプター 645
$P/Sv/Tv/Tav \pm -F$	0	0	0	×	×
Av / Mモード	0	0	0	⊖ *2	0
プログラムP-TTLオートフラッシュ撮影	0	0	0	×	×
P-TTLオートフラッシュ撮影	0	0	0	0	0
AF540FGZ/AF540FGZ II/AF500FTZ/ AF360FGZ/AF360FGZ II/AF330FTZ 使用時の自動照射角変化	×	0	×	×	×
絞り A 位置でのファインダー内絞り値表示	0	0	∧ *4	~	~
校りA位置以外でのファインダー内絞り値目安表示*3	0				^
AF	×	0	×	×	×
MF 時のファインダー内合焦表示 ^{*5}	O *6	0	0	O *6	O ^{*6}
測光モード切り替え	0	0	0	△ *7	*7
●1メニュー「レンズ補正」機能	×	0	×	×	×

*1 ヘリコイド接写リングと情報接点のないアクセサリーはこの項目に適用

- *2 絞り込み測光
- *3 レンズによっては、絞りリングの値とファインダー内の表示が一致しない場合あり
- *4 オート接写リングA/リアコンバーター A645 2X使用時は、レンズの絞り値を表示 リアコンバーター A645 1.4X使用時は、A★645 300mm F4/FA★645 300mm F4以外のレンズとの組み合わせで表示内容に差異が生じる

[レンズの絞り値をそのまま表示]

FA645 300mm F5.6/FA645 400mm F5.6/A*645 600mm F5.6

[レンズとの合成絞り値を表示]

A645 200mm F4/FA645 200mm F4/A*645 300mm F4/FA*645 300mm F4/A645マクロ120mm F4/FA645マクロ120mmF4

[2絞り絞った値を表示]

FA645 150mm F2.8

- *5 レンズ単体またはアクセサリーと組み合わせたときの合成換 算絞り値がF5.6より明るい場合のみ
- *6 A645マクロ120mm F4は、等倍~1/2倍での作動は不確実 測距点は、常に■ (スポット)
- *7 🞯 (分割測光)を選択しても 🗉 (中央重点測光) で動作

準備編

LSレンズのレンズシャッター利用について

PENTAX 645LSレンズはレンズ内にシャッターを搭載してお り、ハイスピードシンクロ撮影などができます。 レンズシャッターを使用するときは、レンズのシャッター速度リ ングをLSに切り替えます。

ただし、次のような制限があるので、ご注意ください。

- ライブビューでは、レンズシャッターを利用できません。
- カメラの露出モードに関係なくMモードで動作します。
 - ・ 適正露出との差分は表示されません。
 - シャッター速度は、「LS」と表示されます。
 - ●を押しても、適正露出にシフトしません。
- ・ 露出補正はできません。
 - ・ 露出補正中にLSに切り替えると、露出補正は解除されます。
- AEロックは使用できません。
 - AEロック中にLSに切り替えると、AEロックは解除されます。
- ドライブモードの連続撮影/セルフタイマー(2秒)/リモコン(3秒後レリーズ)/リモコン連続撮影は使用できません。
 - 「セルフタイマー(2秒)」設定中にLSに切り替えると、「セ ルフタイマー(12秒)」に切り替わります。
 - リモコン(3秒後レリーズ)/リモコン連続撮影を設定中に LSに切り替えると、「リモコン」(即レリーズ)に切り替わ ります。
- ミラーアップ撮影はできません。
 - ミラーアップ中にLSに切り替えると、ミラーダウンします。
- 光学プレビューは使用できません。
 - 事前にレンズシャッターをチャージすると、デジタルプレビューが使用できます。(ホワイトバランス/カスタムイメージでの画像取得も同様)

- インターバル撮影/露出ブラケット/HDR撮影は使用できま せん。
 - 露出ブラケット/HDR撮影を設定してLSに切り替えると、 設定が解除されます。
 - インターバル撮影中にLSに切り替えると、撮影は終了します。
- 多重露出は撮影ごとに手動でレンズシャッターのチャージが 必要です。
- 外付けフラッシュをホットシューに接続しても発光しません。
 必ずレンズ側のシンクロターミナルを使用してください。
- 外付けフラッシュをカメラ側のシンクロソケットに接続して も同調しません。
- ・フラッシュモードの設定は、LS撮影に反映されません。

バッテリーのセット

準備編

本機専用のバッテリー D-LI90Pとバッテリー充電器D-BC90P を使用します。

バッテリーの充電



- **1** バッテリー充電器にACコードを接続
- 2 ACコードをコンセントに差し込む
- 3 ▲ マークがある面を上にしてバッテリーを充電器に セット

充電中はインジケーターランプ点灯 ランプが消灯したら充電完了

4 充電器からバッテリーを取り外す

🕜 注意

- バッテリー充電器D-BC90Pでは、D-LI90P以外は充電しないで ください。充電器の破損や発熱の原因になります。
- 次の場合は、新しいバッテリーと交換してください。
 - バッテリー充電器に正しくセットしてもインジケーターラン プが点滅する、または点灯しない
 - 正しく充電しても使用できる時間が短い(バッテリーの寿命)

🥔 メモ

 充電時間は、最大で約320分です(周囲の温度や充電状態によっ て異なります)。周囲の温度が0~40℃の範囲で充電してください。

バッテリーのセット

🖌 注意

- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、 取り出せなくなる場合があります。
- バッテリーの電極は、乾いた柔らかい布でよく拭いてから入れてください。
- 電源が入っているときは、バッテリーカバーを開けたり、バッテ リーを取り出したりしないでください。
- カメラを長時間連続で使用した場合、本体やバッテリーが熱くなっていることがありますので、注意してください。
- 長い間使わないときは、カメラからバッテリーを取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、バッテリーが液漏れを起こすことがあります。また、取り出したバッテリーを半年以上使用しない場合は、30分程度充電してから保管してください。その後も半年から1年ごとに再充電してください。
- バッテリーは、高温になる場所を避け、室温以下を保持できる場所に保管してください。
- ●長期間バッテリーをセットしていないと、日時がリセットされることがあります。その場合は、再度設定してください。(□ p.R28)

1 バッテリーカバーを開ける

バッテリーカバー開放ノブをつまみ 上げ、OPENの方向に回してからバッ テリーカバーを引き上げる



バッテリーロックレバー

2 バッテリーの▲マークをカメ ラの外側に向け、ロックする まで挿入

取り出すとき

バッテリーロックレバーを③の方向 に押す

3 バッテリーカバーを閉じる バッテリーカバー開放ノブをCLOSE 方向に回してノブを収納する



● バッテリー容量の確認

画像モニターの撮影待機状態と表示パネルで、バッテリー残量 が確認できます。

画像モニター	表示パネル	バッテリーの状態
(緑)		満充電
(緑)		1/3減少
(黄)		2/3減少
(赤)	□点灯	ほとんどなし
■ 「 電池容量がなくなりました」	€□点滅	メッセージ表示後、電源OFF (表示パネルは点滅継続)

🥔 メモ

- 低温下や連続撮影を続けた場合、バッテリー残量が正しく表示されないことがあります。
- 使用環境の温度が下がると、バッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意して、衣服の中で保温するなどして使用してください。低温で低下したバッテリーの性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 海外旅行や寒冷地で撮影する場合や大量に撮影する場合は、予備のバッテリーをご用意ください。
- 長時間使用するときは、別売のACアダプターキットをご使用ください。(p.32)
- ACアダプター使用中は、バッテリー残量は表示されません。

リサイクルについて

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークで す。

ご使用済みの小型充電式電池を廃棄するときは、端子 部に絶縁テープを貼って、小型充電式電池リサイクル 協力店へお持ちください。



ACアダプターの使用

画像モニターを長時間使用するときや、パソコンやAV機器と 接続するときは、別売のACアダプターキットK-AC132Jのご 使用をお勧めします。

準備編

 カメラの電源がOFF になっていることを確認し、端 子カバーを開ける

2 AC アダプターのDC 端子と カメラのDC 入力端子の▲ マークを合わせて接続



3 ACアダプターをACコードに接続し、コンセントに 差し込む

🕜 注意

- ACアダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源をOFF にしてください。
- 各端子はしっかりと接続してください。メモリーカードにアクセ ス中に接続部が外れると、メモリーカードやデータが破損するお それがあります。
- ACアダプターを接続しても、カメラ内のバッテリーを充電することはできません。
- ACアダプターを使用するときは、ACアダプターキットの使用説 明書を併せて参照してください。

メモリーカードのセット

本機では、以下のメモリーカードが使用できます。

- SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモ リーカード
- ・Eye-Fiカード
- 本機対応FLUカード
 本書では、これらを「メモリーカード」と表記します。
 高速・大容量のメモリーカードを用意してください。

💋 注意

- メモリーカードは、必ず本機でフォーマット(初期化)してから 使用してください。(ご [メモリーカードのフォーマット] p.36)
- 1 カメラの電源がOFFになっていることを確認
- 2 カードカバーを①の方向にス ライド



3 メモリーカードのラベル面を 画像モニター側に向けてメモ リーカードスロットの奥まで 挿入

> SD1/SD2スロットの両方または片 方にメモリーカードをセットします。 Eye-Fiカード/FLUカードを使用す る場合は、SD2スロットに挿入



取り出すとき

メモリーカードをさらに押し込む



4 カードカバーを閉じ、①と逆方向にスライド

🕜 注意

- カードカバーは完全に閉じてください。カードカバーが開いていると電源が入りません。
- カードアクセスランプの点灯中は、電源を切ったりメモリーカードを取り出さないでください。
- 動画を撮影する場合は、高速のメモリーカードを使用してください。書き込みが間に合わなくなると、撮影途中で終了する場合があります。

🥏 メモ

- ・メモリーカードを 2 枚セットした場合の記録方法は、「カードス ロット設定」(□ p.R15)を参照してください。
- Eye-Fiカード/FLUカードを使用するときは、「通信カード」 (
 の.R34)を参照してください。



1 電源レバーを「ON」に合わせ る

初めて電源を入れたときは、 「Language/**言語**」画面が表示



② メモ

- カメラを使用しないときは、必ず電源を切ってください。
- 一定時間操作をしないと、自動的に電源が切れます(オートパワーオフ)。電源をONにするには、電源を入れ直すか、シャッターボタンまたは回を押してください。
- オートパワーオフの初期設定は1分です。▲3メニュー「オートパワーオフ」で変更できます。(□ p.R34)

初期設定

言語設定

工場出荷後に初めて電源を入れると、画像モニターに「Language/ 言語」画面が表示されます。以下の手順に従って、表示言語と現 在日時を設定してください。

1 ▲▼∢▶で言語を選択し、◎を押す

選択した言語で「初期設定」画面が表示



2 ▼を押す

3 ▶を押す

「山現在地」画面が表示

4 < ▶ で都市を選択
 ∞ で地図表示切り替え



5 ▼を押す

カーソルが「夏時間」に移動
6 ▲▶で☑ / □を設定、◎を押す

「初期設定」画面に戻る

7 ▼を押す

カーソルが「文字サイズ」に移動

8 ▶を押し、▲▼で標準/大きい を選択、◎を押す 「大きい」に設定すると、選択中のメ ニュー項目が大きく表示

〔 初期設定	ſ
Language/言語	日本語
企東京	
文字サイズ	∢標準
設定完了	大きい

夕 ▼を押して「設定完了」を選
択、◎を押す

「日時設定」画面が表示

「初期設定	ſ
Language/言語	日本語
⊴東京	
文字サイズ	標準
設定完了	
0100取消	

🥔 メモ

- 現在地/目的地として設定できるのは75都市です。(🛄 p.R28)
- 本書では、以降のメニュー画面は「文字サイズ」を「標準」に設定して説明します。
- ・ 言語/現在地/文字サイズの設定を変更するときは、▲1メニュー で設定します。(□ p.R28)

日時設定

 1 「日時設定」画面で ▶ を押し、
 ▲ ▼ で日付の表示スタイルを 選択
 年/月/日/月/日/年/日/月/年から 選択

「日時設定 表示スタイ	ル 小 「年/月/日 24h
日付	2014/01/01
時刻	00:00
i	設定完了
回到取消	

- 2 ▶を押し、▲▼で24h / 12hを選択
- **3** ▶を押す

カーソルが「表示スタイル」に戻る

4 ▼を押し、▶を押す

カーソルが西暦年に移動

5 同様に西暦年/月/日を設定

「日時設定	J
表示スタイノ	レ <u>年/月/日 24h</u>
日付	2014/01/01
時刻	00:00
設	定完了
回见取消	∞決定

6 同様に時刻を設定

手順2で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM/ PMが切り替わる

7 「設定完了」を選択、図を押す ステータススクリーンが表示され、撮影待機状態になる 秒数は0秒にセットされる





- 設定の途中で(IIII)を押すと、設定内容がキャンセルされて撮影待 機状態になります。次回電源を入れると、「初期設定」画面または 「日時設定」画面が表示されます。
- ・ 日時の設定を変更するときは、▲1メニューで設定します。
 (□ p.R28)

2

メモリーカードのフォーマット ��

メモリーカードは、必ず本機でフォーマット(初期化)してか ら使用してください。

1 ▲1メニューが表示



- 🤰 🕰 / 🐨 で 🔧 4 メニューを表示
- 3 ▲▼ で「フォーマット」を選 択、▶を押す 「フォーマット」画面が表示



4 ▲▼でフォーマットするメモ リーカードスロットを選択、 ▶を押す



5 ▲で「フォーマット」を選択、 ◎ を押す フォーマットが開始 フォーマットが終わると、▲4メ ニューに戻る

6 MENDを押す

撮影待機状態に戻る

💋 注意

- フォーマット中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。カードが破損することがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされていた画像も含めて全 データが消去されます。

🥔 メモ

 フォーマットを行うと、メモリーカードに「645Z」というボ リュームラベルが付きます。本機をパソコンに接続したときは、 「645Z」という名称のリムーバブルディスクとして認識されま す。 視度調整

00 決定



1 ファインダーで確認しながら 視度調整リングを回す

右に回すと-側、左に回すと+側に調整



大型アイカップの取り付け

必要に応じて大型アイカップ645 O-EC107を取り付けます。

1 大型アイカップの端を少し 引っ張りながら、標準アイカッ プにかぶせるようにして取り 付ける





撮影

準備編

実際に撮影して動作確認をしてください。

- 1 電源を入れる
- 2 静止画/動画切替レバーを □ に合わせる





3 モードダイヤルロックボタン を押しながらモードダイヤル を回す モードダイヤル ロックボタン

画像モニターに露出モードが表示(ガイド表示)
 ☆ガイド表示の設定(□ p.R30)



4 ファインダーで被写体を確認し、シャッターボタン を押す

画像モニターに撮影画像が表示(クイックビュー)

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作

6	消去
Frank	拡大
AE-L	RAW画像を追加保存(保存可能時のみ)

⊘ メモ

- 撮影前にプレビューを表示して被写界深度が確認できます。 (p.67)
- ・ 合焦時の電子音は、▲1メニュー「電子音」で変更できます。
 (□ p.R29)

ライブビューで撮影

p.38の手順4でビーを押す
 画像モニターにライブビュー画像が
 表示



2 画像モニターのAFフレーム内 に被写体を入れてシャッター ボタン半押し



AFフレーム

ライブビュー中のボタン・ダイヤル操作

œ	拡大表示 [●] 一 で倍率変更(最大16倍) ▲ ■ ▲ ■ で拡大位置移動
	 〇で中央に戻る 〇で等倍に戻る
LV	ライブビュー終了

以降の操作は、ファインダー撮影と同様

画像の確認

撮影した画像を再生します。

1 回を押す

2 画像を確認

再生モードになり、最後に撮影した画 像(ファイルNo.が一番大きい画像) が画像モニターに表示(1画像表示)



1.100-000 AELFAUY

12000 E2.8 10 200

ボタン・ダイヤル操作

◀⁄ 🕰 左	前の画像を表示
▶⁄ ☎2右	次の画像を表示
6	消去(p.73)
9月 7日	拡大(最大16倍)(p.73) ▲▼ ◀▶ で拡大位置移動 〇で中央に戻る 〇で今休ま元に戻る
マルマケ	→ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	再生スロット切り替え
AE-L	RAW画像を追加保存(保存可能時のみ)
INFO	表示情報切り替え(p.19)

דע 🔕

- 画像モニターに (AED RAWE)が表示されているときは、直前に撮影したJPEG画像のRAWファイルを追加保存ができます。(バッファ RAW保存)
- 再生機能の詳細は、「再生・加工編」(p.71)を参照してください。
- パソコンで再生するには、付属のソフトウェア「Digital Camera Utility 5」等を使用してください。(ご「パソコン利用編」p.85)

機能の設定方法

本機の機能を使ったり設定を変更するには、次のいずれかの方法で行います。

ダイレクトキー	撮影待機状態で▲▼◀▶を押す
コントロールパネル	撮影待機状態で (MFO) を押す (本書では (本書では) (本書では) (本書では) (本書では) ((本書) マークで表示)
メニュー	(EDD)を押す

2



撮影待機状態で十字キーを押すと、機能が直接設定できます。

	ドライブモード	p.56
▼	フラッシュモード	p.64
◄	ホワイトバランス	p.53
►	カスタムイメージ	p.68



ここではフラッシュモードを設定する場合を例に説明します。

1 撮影待機状態で▼を押す

フラッシュモードの設定画面が表示



2 ◀▶でフラッシュモードを選択



3 図を押す 撮影待機状態に戻る

コントロールパネルで設定

よく使用する撮影機能が設定できます。 ここでは「長秒時NR」を設定する場合を例に説明します。

1 撮影待機状態で 💵 を押す

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で変更する項目を選択

設定可能な項目のみ選択可能

コントロールパネルが表示



感度AUTO設定 12345 調整範囲 12345 100-3200 Auro AUTO HDR OFF **I**ON NR AITTO → B JPEG 1 4 SONR

2014/05/05 10:30 AM

3 ▲▲ / ●● で設定を変更
 ◎ を押すと、選択した項目の詳細設定
 ● 面が表示。 ◎ で設定確定



WEDを押す 撮影待機状態に戻る

4

準備編

Ζ

INFO

メニューで設定



□ 撮影 / ≌ 動画 / □ 再生 / ヽ詳細設定 / C カスタムメ ニューの操作方法を説明します。

ここでは ▲2メニューの「長秒時NR」を設定する場合を例に 説明します。

┦ 撮影待機状態で ∞∞を押す

画像モニターに▲1メニューが表示



- 2 ▶を押すか、 を右に回す 1回押すごとに □2→□3→□4→ 第1・・・と切り替わる を右に回すと、□1→第1→□1 →、1→C1とカテゴリーが切り替わる。
- 3 ▲▼で項目を選択、▶を押す

設定できる項目が表示 詳細設定項目がある場合は、サブメ ニューが表示

カードスロット設定 記録設定 HDR撮影 レンズ補正	→ B JPEG LA H D F OFF D F
(国型終了)	

01234

▲12_3 4 D-Range設定 €™▲™ 感度AUTO設定 高感度NR P部 見秒時NR P部 プログラムライン **** GPS 「1200終了 **4** ▲ ▼ で設定を選択、 [®]を押す

続けて他の項目が設定可能 (IND)を押すと、メニュー選択前の画面 に戻る

∫ O 1 <u>2</u> 3 4 D-Range設定 感度AUTO設定 高感度NR 長秒時NR プログラムライン GPS	Conre Surre Sonne Jane Onne One One
OEDD取消	◎ 決定

🕜 注意

 電源を入れたままバッテリーを取り出したりするなど誤った操作 で電源を切ると、設定が保存されない場合があります。

🥔 メモ

- ● を押すと、そのときの状態に応じたメニューの先頭ページが 表示されます。直前に操作した画面から表示させたいときは、● 4 メニュー「23.メニュー選択の記憶」で設定します。(● p.R41)
- ・設定した内容は、▲3メニュー「リセット」で初期設定に戻ります。(□ p.R35) C1~5メニューは、C5メニュー「カスタムのリセット」で初期設定に戻ります。(□ p.R43)
- 各メニューの詳細は、『メニューリファレンス』を参照してください。
 - ・ ┗撮影メニュー 🛄 p.R15
 - ・ ↓■動画メニュー 🛄 p.R24
 - ▶再生メニュー 🛄 p.R26
 - 🔧 詳細設定メニュー 🛄 p.R28
 - Cカスタムメニュー 🛄 p.R39



Б

フォーカス	44
露出設定	47
動画撮影	51
ホワイトバランス	53
ドライブモード	56
フラッシュモード	64
プレビュー	67
カスタムイメージ	68



||フォーカスモードの選択

1 レンズでAF / MFを切り替え る



ファインダー撮影とライブビュー撮影では、オートフォーカス の方法が異なります。

ファインダー撮影	TTL位相差検出式 AF.S / AF.C が選択可能 測距点でピントを合わせる位置を設定(p.45) コントラスト検出式よりも高速なオートフォーカス が可能
ライブビュー撮影	コントラスト検出式 顔検出や追尾が可能(p.46)



- ▲の動作は、 ●4メニュー「ボタンカス タマイズ | で設定します。(1 p.R20)
- AFのピント位置はC4メニュー「24. AF微調整|で調整できます。 (**D** p.R42)



ファインダー撮影のAFモード

1 カメラのAFモード切替ダイヤ ルでAF.S / Cを切り替える



AF.S オートフォーカス・ シングルモード	ピントが合うと、その位置にフォーカスロック
C (AF.C) オートフォーカス・ コンティニュアス モード	被写体に合わせて常にピントを調整。ピントが 合っていなくても、シャッターがきれる フォーカス中にカメラが被写体を動体と判断 すると、自動的に動体予測に切り替わる

メモ

- C3メニューでオートフォーカスの動作に関する設定ができま

撮影編

3

AFエリア(測距点)の設定

1 🔝 を押しながら 🗫 を回す



ステータススクリーン/表示パネル にAFエリアが表示

P	AES	
1/250	F (5.6
JS0 3200		
-54321 123		SPOT
► ED JPEG1234		
IPI JPEG1234	- 	🗆 AWB 🏤

🖾 オート(27点)	27点から自動でピント位置を決定(初期設 定)
🌃 ゾーンセレクト	選択した9点から自動的にピント位置を決定
🏼 セレクト	27点中の任意の1点を選択
■ セレクトエリア 拡大 (S)	27点中の任意の1点を選択。合焦後に被写体 が動いて見失った場合は、周囲の8点から選 択 AF.S時は選択不可
■ セレクトエリア 拡大(M)	27点中の任意の1点を選択。合焦後に被写体 が動いて見失った場合は、周囲の24点から選 択 AF.S時は選択不可

■ セレクトエリア 拡大(L)	27点中の任意の1点を選択。合焦後に被写体 が動いて見失った場合は、周囲の26点から選択 AF.S時は選択不可
■ スポット	27点中の中央の1点にピントを合わせる

☞/・以外は手順2へ

2 測距点を指定

ファインダー内の測距点が点灯



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	測距点を移動
OK	中央に戻す
@	▲▼ ◀▶ の機能を測距点移動モード/ダイレクト キーモードに切り替え

🥔 メモ

- 測距点が移動できるときは、ファインダー内に
 ♪が点灯します。
- 測距点は、コントロールパネルの「測距点切替」で設定することもできます。
- ・ ■で▲▼▲▶の機能を切り替えたときは、電子音が鳴ります。▲1 メニュー「電子音」で設定が変更できます。(□□ p.R29)
- ・ ● / / / / に設定したときにいつでも測距点を移動したい(ダイレクトキー操作を無効にしたい)ときは、C4メニュー「26. +字キーの動作」で設定します。(□ p.R42)
- 使用しているレンズやアクセサリーによっては、設定できる測距 点が制限されます。(p.28)

撮影編

ライブビュー撮影のAFモード

ライブビュー撮影時のAFモードを設定します。

1 📾 を押しながら 🐨 を回す

3

AFモードの選択画面が表示



0	顔検出	人物の顔を検出して追尾(初期設定) AF・AE対象のメイン顔検出枠は黄色で表示
	追尾	ピントが合った被写体を追尾 ピントが合っていなくても撮影可能
AUTO	多点オート	任意のエリアにピントを合わせる センサーを35分割(横7×縦5)し、AFエリア を任意の範囲に設定。AFエリアの大きさは、35 分割中の1/9/15/21個のサイズから選択
÷	セレクト	ピクセル単位でAFエリアを設定
•	スポット	中央の限られた範囲にピントを合わせる

2 國を押す

AFエリアの設定画面が表示

3 AFエリアを指定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	AFエリアを移動	
Frank	()AFエリア拡大/縮小	
0	 中央に戻す	

4 ∞を押す

AFエリアが確定

🕗 注意

🥔 メモ

- ライブビューのAFモードは、●3メニュー「ライブビュー」また はコントロールパネルの「コントラストAF」で設定することもで きます。(単 p.R18)
- ●3メニュー「ライブビュー」またはコントロールパネルの「フォー カスアシスト」をオンに設定すると、ピントが合った部分の輪郭が 強調され、確認しやすくなります。(□ p.R18)

46

露出設定

測光モードの選択

1 測光モード切替レバーを回す ステータススクリーン/ファイン ダー内/ライブビューに設定した測 光モードが表示



 図 分割 センサーを分割して明るさを測定 逆光時は自動補正 		
0	中央重点	センサー中央部分を中心に測光 中央部分ほど感度が高い。逆光時も自動補正されな い
•	スポット	センサー中央の狭い範囲を測光 被写体が小さいときなどに利用

🥏 メモ

 ・ 測光ポイントと測距点を連動させることができます。€1メニュー 「5. 測距点と露出の関連付」で設定します。(□ p.R39)

測光タイマー

測光タイマーの作動時間は、**C**1メニュー「3. 測光作動時間」で 設定します。(<u></u>p.R39)

ISO感度の設定

ISO感度は、AUTOまたはISO 100~204800(# モード はISO 100~3200) 相当の間で設定できます。

1 🜆 を押しながら 🐨 を回す

150を押しながら●を押すと、AUTO に戻る





- ISO AUTOの自動調整範囲は、●2メニューまたはコントロール パネルの「感度AUTO設定」で設定します。(□ p.R17)
- ISO感度の設定ステップは、1EVまたは露出設定ステップが選択できます。C1メニュー「2. ISO感度ステップ」で設定します。
 (□ p.R39)
- ・ 高感度時のノイズは、●2メニューまたはコントロールパネルの 「高感度NR」で軽減できます。(● p.R17)
- ISO 感度が高感度になっていると、連続撮影のコマ速度が遅くなる場合があります。

3 撮影編

露出モードの切り替え

以下の露出モードがあります。

露出モード	機能	露出補正	シャッター 速度変更	絞り値変更	ISO感度変更
P プログラム自動露出	プログラムラインに従ってシャッター速度と絞り値を自動設定 全国・クロングの操作で、シャッター優先/絞り優先に切り替 え可能	0	0	0	0
Sv 感度優先自動露出	ISO感度を任意に設定	0	×	×	AUTO以外
T∨ シャッター優先自動露 出	シャッター速度を任意に設定	0	0	×	0
Av 絞り優先自動露出	絞り値を任意に設定	0	×	0	0
TAv シャッター&絞り優先 自動露出	設定したシャッター速度/絞り値に合わせて、ISO感度を 自動設定	0	0	0	AUTOのみ
M マニュアル露出	各値を任意に設定	0	0	0	AUTO以外
B バルブ露出	バルブ撮影	×	×	0	AUTO以外
X フラッシュ同調速度	シャッター速度を1/125秒に固定し、シャッター速度が 自動的に切り替わらないフラッシュと組み合わせる場合 に使用	0	×	0	AUTO以外
U1/U2/U3 ユーザー設定	任意に登録した露出モードと設定で撮影	_	_	_	_

🥔 メモ

- ・ プログラムラインは、▲2メニュー「プログラムライン」で設定します。(🏨 p.R18)
- ・ ★の同調速度は、C4メニュー「25. フラッシュ同調速度」で変更できます。(□ p.R42)
- ・ U1/U2/U3は、 △4メニュー「USERモード登録」で設定します。(□ p.R22)

48

3

撮影編

 モードダイヤルロックボタン を押しながらモードダイヤル を回す



🤰 🚗 / 🐨 で設定を変更する



ステータススクリーンには、変更可能 な値に電子ダイヤルのマークが表示



ファインダー内には、変更可能な値に アンダーラインが表示

表示パネルには、変更可能な値に電子 ダイヤルのマークが表示



30 FYS 100

ライブビュー撮影では、変更可能な値 に▶が表示



🥔 メモ

- 露出の設定は、1/3 EVステップで指定できます。C1メニュー「1.露出設定ステップ」で1/2 EVステップに変更できます。
 (血 p.R39)
- ISO 感度を固定値で設定すると、設定したシャッター速度/絞り 値で適正露出が得られない場合があります。
- M/Xモードでは、露出の調整中に適正露出との差がバーグラフ で表示されます。
- B モードでは、ドライブモードの連続撮影/多重露出連続撮影/ インターバル撮影/インターバル合成/露出ブラケットは選択で きません。
- ・ ▲ / と●を操作したときにどのように動作するかを、露出 モードごとに設定できます。 ● 4メニュー「電子ダイヤル」で設 定します。(● p.R20)

露出補正

露出は-5~+5EV (♣ モードは-2~+2 EV) の範囲で補正で きます。

1 図を押しながら 🐨 を回す

補正中は、ステータススクリーン/ファインダー内/表示パネル/ライブビューに図が表示 愛を押しながら●を押すと、0.0に戻る



AEロック

撮影前の露出を記憶します。

1 Œを押す

AEロック中は、ステータススクリー ン/ファインダー内/表示パネル/ ライブビューに★が表示



🥔 メモ

- AED から指を放しても、測光タイマーの2倍の時間は露出が記憶 されています。
- AB を押すと、電子音が鳴ります。 ▲1 メニュー「電子音」で設定が変更できます。(🏨 p.R29)
- MモードでAEロックすると、露出値を保持したまま、シャッター 速度/絞り値が変更できます。
- **B**/**X**モードでは、AEロックは使用できません。
- ・ 次の操作を行うと、AEロックは解除されます。
 - 再度 AED を押す

 - モードダイヤルを回す
 - レンズを交換する
 - 絞り A 位置のあるレンズで、A 位置から外すまたは A 位置に セットする
- ・ 焦点距離によって開放F値が変わるズームレンズでは、AEロック 中にズームを動かすと、シャッター速度と絞り値が変化します。 ただし露光量は変わらないため、AEロックした時点の明るさで撮 影されます。
- フォーカスロック時に露出を固定できます。C1メニュー「4. AF ロック時のAE-L」で設定します。(□ p.R39)



1 静止画/動画切替レバーを ≌ に合わせる



ライブビューが表示





録画可能時間

2 ピントを合わせる

AFモード時は、シャッターボタン半押し

3 ◉を押す

撮影開始

画像モニター左上に「REC」が点滅し、 記録されるファイル容量が表示



4 もう一度●を押す

撮影終了

🕜 注意

- ・ 音声を録音する設定にしている場合、カメラの動作音なども録音 されます。
- 撮影中にカメラ内部が高温になると、強制終了する場合があります。

🥔 メモ

- ・ 撮影の開始/終了は、シャッターボタン全押しでも操作できます。
- 動画は最大 4GB、または最長 25 分まで連続して撮影できます。 メモリーカードがいっぱいになると撮影が終了します。

撮影編

外部マイクの利用

マイク端子に市販のステレオマイク を接続できます。外部マイクを利用す ると、カメラの動作音などが録音され ることを軽減できます。 外部マイクは以下の仕様を推奨しま す。



プラグ	ステレオミニ (Φ3.5mm)	
形式	ステレオ エレクトレットコンデンサ	
電源	プラグインパワー方式(動作電圧2.0V以下)	
インピーダンス	2.2kΩ	
撮影中に外部マイクを外すと無音になるので、注意してください。		

動画の再生

1 再生モードの 1 画像表示で再 生する動画を表示



ボタン・ダイヤル操作

A	再生/一時停止
•	(一時停止中)コマ送り
▶長押し	早送り再生
•	(一時停止中)コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
▼	停止
VIII S	音量調節(21段階)
AE-D	(一時停止中)表示中のコマをJPEG形式で保存

🥖 メモ

• 再生モードパレット「動画編集」で、動画の分割や不要範囲の消 去ができます。(p.81)

3

ホワイトバランス

以下の設定ができます。

	設定	色温度
AWB	AWB オートWB(初期設定) ■ _A マルチパターンオートWB	約4000~8000K
崇	太陽光	約5000K
₫ѧ	日陰	約8000K
එ	曇天	約6000K
澎		約5700K 約4700K 約4200K 約3500K
*	白熱灯	約2850K
₩B	フラッシュ	約5400K
CTE	Color Temperature Enhancement	-
L	マニュアルWB1~3	_
K	色温度1~3	約2500~10000K

🥝 メモ

 ■▲は、光源が混在する場所でも、領域ごとの光源を判断して自動 調整します。(▲●モードでは、設定不可) 1 撮影待機状態で ◀を押す

ホワイトバランスの設定画面が表示



2 ホワイトバランスを選択 AWB/ニンロンKは、▼を押してから ▲▶で選択



ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

電源レバー 改	設定を適用した背景画像をデジタルプレビュー
AE-L	プレビュー画像を保存(保存可能時のみ)

微調整が不要なときは、手順5へ

3 💵を押す

微調整の設定画面が表示



ボタン・ダイヤル操作

▲ ▼	G-M(グリーン-マゼンタ)間
▲ ►	B-A(ブルー –アンバー)間
0	リセット

4 🛯 を押す

手順2の画面に戻る

3

撮影編



撮影待機状態に戻る

- 🥏 メモ
- €2メニューでホワイトバランスに関する設定ができます。 (□ p.R40)
- **3** 撮影編

マニュアルホワイトバランス

マニュアルホワイトバランスは、3つ登録できます。

- 1 p.53の手順2で品を選択、▼を押す
- 2 品1~品3を選択



3 測定する照明の下で白い被写体を選んでシャッター ボタンを全押し

撮影画像表示

測定できなかったときは、「正しく処理できませんでした」と表示。 ☞で再測定

- 4 ▲▼ ◀ ▶ で測定範囲を指定
- 5 🛯 を押す

ホワイトバランスの設定画面に戻る

撮影済み画像の設定値登録

本機で撮影した画像のホワイトバランス設定をコピーし、マ ニュアルホワイトバランスに登録します。

- 1 再生モードの1画像表示でホワイトバランスをコピー する画像を表示し、▼を押す 再生モードパレットが表示
- 2 品 (マニュアルWB登録)を選択、∞を押す 登録の確認画面が表示
- 3 登録する番号を選択 ▲ で画像切り替え



4 🛯 を押す

選択した画像のホワイトバランスがマニュアルホワイトバランス に登録、撮影待機状態に戻る

🖌 注意

• 画像撮影時の微調整値は登録されません。

色温度

色温度は、3つ登録できます。(初期設定:5000K)

- 1 p.53の手順2でKを選択、▼を押す
- **2** K1~K3を選択
- 3 💵を押す

4 色温度を調整

2500~10000Kの範囲で設定



ボタン・ダイヤル操作

	100ケルビン単位	
Kur	1000ケルビン単位	
▲▼◀►		

5 ∞を押す

ホワイトバランスの設定画面に戻る

🥔 メモ

 ・C2メニュー「13. 色温度ステップ」で「ミレッド」に設定する
 と、ミレッド単位で色温度が設定できます。 ▲ で20ミレッド
 単位、 ▼ で100ミレッド単位で変更ができます。その場合も、
 画面表示はケルビン換算で表示されます。(□ p.R40)

ドライブモード

以下のドライブモードが選択できます。

1コマ撮影 (ロ)	通常の撮影
連続撮影	シャッターボタンを押している間に撮影
(및'/ _및 ^L)	速度によって連続撮影できる枚数が異なる
セルフタイマー	シャッターボタンを押してから12秒後/2秒後
(に撮影
リモコン	リモコンで撮影
(i / iss / iu)	即時/3秒後レリーズ/連続撮影が選択可能
多重露出 (回/風/心/風)	任意の枚数を1枚の画像に合成しながら撮影 標準/連続撮影/セルフタイマー/リモコンが 選択可能
インターバル撮影 (₃)	指定時刻から一定間隔で連続撮影
インターバル合成	ー定間隔で撮影した画像を1枚に合成
(雪)	星や月の光跡などを1枚の画像に記録
インターバル動画 (⁽ 3 ⁾	ー定間隔で撮影した静止画を1つの動画ファイル で保存 聲モード時のみ選択可能

🥔 メモ

- カメラの電源を切ってもドライブモードの設定は保存されています。

 4メニュー「モードメモリ」で「ドライブモード」をオフに設定すると、電源を切ったときに1コマ撮影に戻ります。
 (□ p.R22)
- セルフタイマー/リモコンを使用するドライブモードを選択しているときは、ファインダーから入る光が露出に影響を与えることがあります。その場合は、AEロックを使用してください。(p.50)

🚺 注意

• 設定している機能によっては、選択できるドライブモードが制限 されます。(□ p.R44)

連続撮影

1 撮影待機状態で▲を押す ドライブモードの設定画面が表示



2 ⊒"を選択、▼を押す



3 山 / 山 を選択、 @ を押す 撮影待機状態に戻る

🥔 メモ

- AFモードがAF.Sのときのフォーカスは、1枚目の合焦位置に固定 されます。
- ISO 感度が高感度になっていると、コマ速度が遅くなる場合があります。

撮影編

3

セルフタイマー

撮影待機状態で▲を押す
 ドライブモードの設定画面が表示



2 ③を選択、▼を押す

セルフタイマー(12秒) ロロ()) : 日の日 さら。 (ED)取消 ©決定

- **3** ② / ③ を選択、 **③** を押す 撮影待機状態に戻る
- 4 シャッターボタン半押し→全押し

セルフタイマーランプ点滅 12秒後または2秒後に撮影

リモコン

1 撮影待機状態で▲を押す
 ドライブモードの設定画面が表示



2 ▮を選択、▼を押す



- 3 1/155 / 105 を選択、00を押す 撮影待機状態に戻る セルフタイマーランプ点滅
- **4** シャッターボタン半押し
- 5 カメラ正面/背面のリモコン受光部にリモコンを向け、リモコンのシャッターボタンを押す

🥏 メモ

- リモコンで撮影できる距離は、カメラ正面から約4m、背面から約2mです。
- ・ リモコンでピント合わせをしたいときは、C3メニュー「19. リ モコン時のAF」で設定します。(□ p.R41)
- 防水リモコン O-RC1を使用時は、¼ボタンでピント合わせができます。Fnボタンには対応していません。

多重露出



7 撮影待機状態で▲を押す ドライブモードの設定画面が表示



2 ■を選択、▼を押す

3 ■/

●/

◎/

●

を

押す



AF

4 「合成方法」を選択

平均	露光量を平均して合成
加算	露光量を加算して合成
比較明	明るい部分を合成

5 「撮影回数」を指定

2~2000回で指定

6 🛛 を押す

撮影待機状態に戻る

7 シャッターボタンで撮影

クイックビュー表示

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作

6	画像を破棄し、1回目から撮影し直し
MENU	撮影済み画像を保存し、✿メニューを表示

設定回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

🕜 注意

- 多重露出と●1メニュー「HDR撮影」は同時に設定できません。
 後から設定した機能が有効になります。
- ・ 多重露出を設定した場合、▲1メニュー「レンズ補正」は無効です。

|インターバル撮影



1 撮影待機状態で▲を押す ドライブモードの設定画面が表示



2 ◇ を選択、▼を押す

3 撮影条件を設定

インター/ ロピじ i	ベル撮影 日 図 む
	∢00:00'02"▶ 0002回 即時
OEDD 取消	◎決定

撮影間隔	2秒~24時間で設定
撮影回数	2~2000回で設定
開始トリガー	1 回目を撮影するタイミングを即時/時刻指定から 選択 「時刻指定」の場合は「撮影開始時刻」を設定

4 設定が終わったら©を押す

撮影待機状態に戻る

5 シャッターボタンで撮影

「開始トリガー」が「即時」の場合は1回目撮影。「時刻指定」の場合は、設定時刻から撮影開始 撮影を途中で終了する場合は、待機中画面で (国)を押す 設定回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

🥏 XE

- インターバル撮影を行うと、新しいフォルダーが作成されて画像 が保存されます。インターバル撮影後に別のドライブモードで撮 影を行う場合は、再度新しいフォルダーが作成されます。
- 「撮影間隔」の最小値は、▲1メニュー「HDR撮影」設定時は30 秒になります。

インターバル合成

1 撮影待機状態で▲を押す
 ドライブモードの設定画面が表示

2 彎を選択、▼を押す

3 撮影条件を設定

インターノ	バル合成
"ů i	to the second se
合成方法	
最影間隔	00:00'02"
撮影回数	0002回
開始トリカー	即時
(IIII)取消	

合成方法	平均/加算/比較明から選択 (「多重露出」(p.58)参照)	
途中経過保存	途中の画像を保存する場合は	
撮影間隔	2秒~24時間で設定	
撮影回数	2~2000回で設定	
開始トリガー	1 回目を撮影するタイミングを即時/時刻指定から 選択 「時刻指定」の場合は「撮影開始時刻」を設定	

4 設定が終わったら∞を押す

撮影待機状態に戻る



5 シャッターボタンで撮影

「開始トリガー」が「即時」の場合は1回目撮影。「時刻指定」の場合は、設定時刻から撮影開始 撮影を途中で終了する場合は、待機中画面で (国)を押す 設定回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

🥔 メモ

- 「途中経過保存」を ☑ に設定した場合は、新しいフォルダーが作成されて画像が保存されます。インターバル合成後に別のドライブモードで撮影を行う場合は、再度新しいフォルダーが作成されます。
- 撮影時は、三脚などでカメラを固定してください。

インターバル動画

⊯モードのときは、一定間隔で撮影した静止画を1つの動画 ファイル(Motion JPEG、拡張子:.AVI)で保存する「イン ターバル動画」が撮影できます。

1 静止画/動画切替レバーを に合わせて▲を押す

ドライブモードの設定画面が表示







2 ジ[□]を選択、▼を押す

3 撮影条件を設定



記録サイズ	4K/FullD/HDから選択
撮影間隔	2秒/5秒/10秒/20秒/30秒/1分/5分/10 分/30分/1時間から選択
撮影所要時間	撮影開始から終了までの所要時間を14秒~99時間 で設定。「撮影間隔」によって、設定できる時間が異 なる
開始トリガー	1 回目を撮影するタイミングを即時/時刻指定から 選択 「時刻指定」の場合は「撮影開始時刻」を設定

4 設定が終わったら四を押す

撮影待機状態に戻る

5 シャッターボタンで撮影

「開始トリガー」が「即時」の場合は1回目撮影。「時刻指定」の 場合は、設定時刻から撮影開始 クイックビュー表示後、画像モニター消灯 設定回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

🥝 メモ

 「撮影間隔」の最小値は、▲1メニュー「HDR撮影」設定時は30 秒になります。 撮影編

露出ブラケット

2枚(標準・-側/標準・+側)/3枚/5枚の露出ブラケット 撮影ができます。

▲ で設定する連続撮影/セルフタイマー/リモコンと併用が できます。

1 ■を押しながら▲ を回し、撮影枚数を設定

表示パネルで確認



右(時計回り) OFF→3→5→2→-2→OFF 左(反時計回り) OFF→-2→2→5→3→OFF

2 🖻を押しながら 🐨 を回し、ブラケット幅を設定

露出設定 ステップ	補正値
1/3EV	±0.3/±0.7/±1.0/±1.3/±1.7/±2.0
1/2EV	±0.5/±1.0/±1.5/±2.0

●を押しながら●を押すと、OFF/--に戻る





3 シャッターボタン全押し

露出ブラケットを終了するときは、手順1の操作で「OFF」に設定

🥔 メモ

- ブラケット撮影の撮影順は、C2メニュー「8. ブラケット撮影順」
 で設定します。(() p.R40)
- ・露出ステップ幅は、C1メニュー「1.露出設定ステップ」で設定します。(□ p.R39)
- 1回のレリーズで全コマ撮影したい場合は、C2メニュー「9. ワンプッシュブラケット」を設定します。(□ p.R40)
- 所定枚数の撮影が完了する前にシャッターボタンを放した場合、 測光タイマーの2倍の時間は、次のブラケット設定値を保持します。
- 露出ブラケットとP-TTLオートフラッシュを併用すると、フラッシュの光量を連続的に変化させて撮影できます。1コマごとにフラッシュの充電が完了してから撮影してください。

🕜 注意

- Bモードのときは撮影できません。
- 多重露出/インターバル撮影/インターバル合成とは併用できません。後から設定した機能が有効になります。

撮影編

||ミラーアップ撮影

- ミラーをアップした状態にします。 ▲で設定する他のドライブモードと併用ができます。
- 1 ミラーアップダイヤルを回す

ミラーアップ待機状態



2 シャッターボタン全押し

ミラーアップ

3 もう一度シャッターボタン全押し

撮影後、ミラーダウン ミラーアップ撮影を終了するときは、ミラーアップダイヤルを元 に戻す

🥔 メモ

- ミラーアップ後5分経過したとき、またはオートパワーオフが働いたときは、自動的にミラーが下がります。5分経過していなくても、撮影条件によってはミラーが下がる場合があります。
- C4メニュー「27. ミラーアップ操作」で、ミラーアップダイヤルの操作を無効にすることができます。(血p.R42)

🕜 注意

- ライブビュー撮影時は、ミラーアップ撮影はできません。ミラー アップ中にWを押しても、ライブビュー画像は表示されません。
- ミラーアップ中にモードダイヤルまたはレンズの絞りリングを操 作すると、ミラーダウンします。
- ミラーアップ中は、プレビューはできません。
- ミラーアップ待機状態になっていても、インターバル撮影/イン ターバル合成時はミラーアップしません。

手ぶれ補正について

▲モードではSR対応レンズを使用すると、手ぶれ補正(Shake Reduction)が利用できます。使い方はSR対応レンズの使用説 明書を参照してください。なお、ドライブモードのセルフタイ マー/リモコン/インターバル動画/ミラーアップ撮影のとき は、Shake Reductionは自動的にオフになります。 また#モードでは、#1メニュー「Movie SR」で手ぶれ補正が

利用できます。(🋄 p.R25)

フラッシュモード

フラッシュの取り付け

 カメラのホットシューカバー を外す



2 フラッシュを取り付け、電源を入れる

🕜 注意

- ・故障の原因となりますので、高電圧や高電流のフラッシュは使用しないでください。
- 極性が逆(ホットシューまたはシンクロプラグの中心がマイナス)のフラッシュは使用できません。カメラやフラッシュが壊れるおそれがあります。
- 連動機能は働きません。
- 後幕によるケラレを防ぐため、同調速度より1段低いシャッター 速度でテスト撮影することをお勧めします。

シンクロコードの利用

カメラのシンクロソケットに、シンク ロコードが接続できます。 シンクロソケット



シンクロソケット2Pキャップ

🥔 メモ

 ●で、シンクロソケットに接続したフラッシュをモデリング発光 またはテスト発光させることができます。●4メニュー「ボタン カスタマイズ」の「照明ボタン」で設定します。(□ p.R20)

🕜 注意

シンクロソケットの接点部には防塵・防滴処理が施されていません。使用しないときは常に付属のシンクロソケット2Pキャップを取り付けておいてください。

3

フラッシュモードの設定

以下のフラッシュモードが選択できます。露出モードによって 設定できるフラッシュモードが異なります。

	フラッシュモード	設定できる露出モード
4	強制発光	P/Sv/Tv/Av/TAv/M/
4 0	強制発光 + 赤目軽減	B∕X
sLow	スローシンクロ	
slaw © ∛	スローシンクロ+赤目軽減	

1 撮影待機状態で▼を押す

フラッシュモードの設定画面が表示



 \bigcirc

2 フラッシュモードを選択



3 光量を補正するときは、▼を押 してから マテッで調整



C1メニュー「1. 露出設定ステップ」(□ p.R39)の設定によって補正値が異なる

露出設定ステップ	補正値
1/3EV	-2.0/-1.7/-1.3/-1.0/-0.7/-0.3/ 0.0/+0.3/+0.7/+1.0
1/2EV	-2.0/-1.5/-1.0/-0.5/0.0/+0.5/ +1.0

●でリセット

4 ◙を押す

撮影待機状態に戻る

フラッシュ適応表

本機と当社製フラッシュの組み合わせで、以下の機能が使用できます。

フラッシュ 機能	AF540FGZ II AF360FGZ II	AF540FGZ AF360FGZ	AF200FG AF160FC	AF500FTZ AF330FTZ	AF400FTZ AF240FT	AF400T AF280T AF200T	AF140C AF080C	AF200SA	AF200S AF160 AF140
P-TTLオートフラッシュ撮影	⊖ *3	⊖ * 3	⊖ * 3	×	×	×	×	×	×
外光オートフラッシュ撮影	×	0	×	×	×	0	×	0	0
赤目軽減	0	0	0	×	×	×	×	Х	×
充電完了後、フラッシュ同調速度 ヘシャッター速度を自動切り替え	0	0	0	0	0	0	0	0	0
P/Tv モード時の絞り値セット	0	0	×	×	×	O *4	O *4	Х	O *5
スローシンクロ	0	0	0	0	0	O *6	O *6	0	○ ^{*5}
後幕シンクロ撮影 ^{*1}	0	0	×	O *7	O *7	×	×	×	×
光量比制御シンクロ撮影	0	0	×	×	×	×	×	Х	×
スレーブ	0	0	×	O *8	×	×	×	Х	×
フラッシュ光量補正	0	0	0	×	×	×	×	Х	×
AF補助光投光	0	0	×	0	0	×	×	Х	×
マルチフラッシュ	0	×	×	0 *8	×	×	×	×	×
ハイスピードシンクロ撮影 ワイヤレス撮影 ^{*2}	0	×	×	×	×	×	×	×	×

*1 使用可能シャッター速度に制限あり

*2 対応フラッシュが2台以上必要

*3 A645/A*645/FA645/FA*645/DFA645レンズを使用した場合のみ

*4 発光モードがMS/Mの場合、絞り値が自動で変化

*5 発光モードがMS/Mの場合、**Tv**モード時は絞り値が自動で変化

*6 絞り値が自動で変化

*7 フル発光

*8 AF330FTZは不可



電源レバーを**0**に合わせるとプレ ビューができます。 2つのプレビュー方法があります。



04

光学プレビュー	被写界深度をファインダーで確認(初期設定)
デジタルプレビュー	構図・露出・ピントなどを画像モニターで確認(最 長60秒) 拡大表示、プレビュー画像の保存が可能

| プレビュー方法の設定

1 □4メニュー「ボタンカスタマイズ」を選択、▶を 押す

「ボタンカスタマイズ」画面が表示

- **2** 「プレビューレバー」を選択、 ▶ を押す 「プレビューレバー」画面が表示
- 3 光学プレビュー / デジタルプレビューを選択、◎を 押す
- **4 回りを3回押す** 撮影待機状態に戻る

🖉 🗶 🔛

- ドライブモードが多重露出/インターバル撮影/インターバル合成/ミラーアップ撮影時のプレビュー操作は、設定にかかわらず 光学プレビューになります。
- ・ デジタルプレビューの画面表示と動作については、●4メニュー 「デジタルプレビュー」で設定できます。(□ p.R19)
- プレビューは、 (220) に割り当てることもできます。(12) p.R20)
 電源レバー 2 と (230) にそれぞれ割り当てをすれば、簡単に光学プレビュー/デジタルプレビューの使い分けができます。

カスタムイメージ

画像の仕上がりイメージ(画像仕上)を設定して撮影します。 選択した画像仕上によって、以下のパラメーターが変更できま す。

画像仕上	パラメーター
	彩度:-4~+4
鮮やか/ナチュラル/	色相:-4~+4
入物/風京/ 雅(MIYARI)/	<i>≠</i> −∶-4~+4
ポップチューン	コントラスト:-4~+4
	シャープネス: - 4~ + 4
	彩度:-4~+4
	調色:オフ/グリーン/イエロー/オレンジ/ レッド/マゼンタ/パープル/ブルー/シアン
はのか/ 銀残し 	<i>≠</i> −∶-4~+4
	コントラスト:-4~+4
	シャープネス: - 4~ + 4
リバーサルフィルム	シャープネス:-4~+4
	フィルター効果:なし/グリーン/イエロー/ オレンジ/レッド/マゼンタ/ブルー/シアン/ 赤外調
モノトーン	調色:オフ/グリーン/イエロー/オレンジ/ レッド/マゼンタ/パープル/ブルー/シアン
	≠ −∶ - 4~ + 4
	コントラスト:-4~+4
	シャープネス:-4~+4
クロスプロセス	シャッフル/プリセット1~3/お気に入り1~3 *1

*1 再生モードパレット「クロスプロセス登録」で撮影済み画像の設定が登録可能(p.69)

ノンド

カスタムイメージの初期設定は「ナチュラル」です。

1 撮影待機状態で▶を押す カスタムイメージの設定画面が表示



2 画像仕上を選択



ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

電源レバー 🧿	設定を適用した背景画像をデジタルプレビュー
AE-L	プレビュー画像を保存(保存可能時のみ)

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

3 MEDを押す

パラメーターの設定画面が表示

3

撮影編

4 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

▲ ▼	パラメーター選択
4 ►	值調整
	コントラスト/コントラストハイライト調整/コ ントラストシャドー調整切り替え
KINS .	シャープネス/ファインシャープネス/エクスト ラシャープネス切り替え(ぱ モード時は不可)
0	リセット

5 ∞を押す

手順2の画面に戻る

6 🛛 を押す

撮影待機状態に戻る

🥔 メモ

画像仕上で「リバーサルフィルム」を選択し、ホワイトバランスが「オートWB」に設定されているときは、デイライトフィルム相当で撮影されます。

撮影済み画像の設定値登録

「クロスプロセス」を設定して撮影した画像は、撮影するたび に処理結果が異なります。気に入ったクロスプロセス画像が撮 影できたときは、その設定を登録しておいて呼び出して使用す ることができます。

1 再生モードの1画像表示で▼を押す

再生モードパレットが表示

2 🖾 (クロスプロセス登録)を選択、 🗅 を押す

最新画像から順にクロスプロセス画像を検索 見つからない場合は「クロスプロセス撮影画像がありません」と 表示

3 ▲ でクロスプロセス画像を 選択



4 登録する番号を選択、◎を押す

指定した画像の設定がお気に入り1~3に登録

🥖 メモ

 登録したクロスプロセス設定は、「カスタムイメージ」(p.68)の 手順2で「クロスプロセス」を選択し、パラメーターでお気に入り1~3を選択して呼び出します。

MEMO


再生機能の設定方法	72
1画像表示	73
再生方法の変更	74
画像の加工・編集	77
プロテクト	83
AV機器との接続	84

再生機能の設定方法

再生に関する機能は、
▶メニューの ほかに、再生モードパレットで指定し ます。 再生モードパレットは、再生モードの 1画像表示のときに▼を押すと表示さ



れます。

	項目	機能	参照
\Diamond	画像回転 ^{*1}	画像の回転情報を変更	p.76
0	デジタルフィル ター ^{*1}	デジタルフィルターで加工	p.79
	色モアレ補正 ^{*1*2}	色モアレが発生した画像を補正	p.78
	リサイズ ^{*1 *2}	画像の記録サイズを変更	p.77
	トリミング ^{*1}	画像の必要な部分だけを切り取り	p.78
ᠳ	プロテクト	画像を誤って消去しないように保 護	p.83
▶	スライドショウ	画像を連続再生	p.76
Ð	マニュアルWB登 録 ^{*1}	撮影済み画像のホワイトバランス 設定値をマニュアルホワイトバラ ンスに登録	p.54
	クロスプロセス登 録	カスタムイメージの「クロスプロ セス」で撮影した画像の設定値を お気に入りに登録	p.69
RAW	RAW展開 ^{*3}	RAW画像をJPEGに変換して保 存	p.82
26	動画編集 ^{*4}	動画を分割または不要部分を消去	p.81
G⇒>	画像コピー	SD1とSD2のメモリーカード間 で画像をコピー	p.77
<u> </u>	Eye-Fi画像転送 ^{*5}	Eye-Fiカード使用時に、画像を選 択して転送	🛄 p.R34

*1 動画表示時は実行不可

- *2 RAW画像表示時は実行不可
- *3 RAW画像保存時のみ実行可能
- *4 動画表示時のみ実行可能

*5 SD2スロットにEve-Fiカード挿入時のみ実行可能

2 XE

- 再生モードパレットの機能は、再生中のメモリーカードスロット の画像に対して実行されます。1 画像表示のときに、 122 で再生 スロットを切り替えてから再生モードパレットを表示してくださ 1
- 「リサイズ」などで画像を新規保存する ときに、SD1/SD2スロットが両方 とも記録可能な場合は、保存するス ロットが選択できます。
- ▶メニューについては、『メニューリ ファレンス」を参照してください。 (<u>m</u> p.R26)



再生・加工編

1 画像表示

画像の消去

💋 注意

- 消去した画像は復元できません。
- プロテクトされている画像は消去できません。(p.83)
- 1 1画像表示で対象画像を表示
- 2 🗇を押す

消去の確認画面が表示



3 「消去」を選択、◎を押す

🥔 メモ

- RAW+で保存されている画像の場合は、どの記録形式の画像を消 去するか選択します。
- 複数画像をまとめて消去する場合は、「複数画像を表示」(p.74) /「フォルダー表示」(p.75)を参照してください。
- すべての画像を消去する場合は、▶1メニューで「全画像消去」 を選択します。(▲ p.R27)

拡大表示

画像を約16倍まで拡大して表示します。

1 1画像表示で対象画像を表示

🤰 🐨 を右に回す

1クリック回すごとに画像が拡大



ボタン・ダイヤル操作

× × +	
をした	縮小
▲▼◀►	拡大位置の移動
OK	全体表示に戻る
	拡大倍率と拡大位置を保ったまま、前後の画像を表 示
INFO	表示情報の切り替え
112	拡大率・拡大位置を保持したまま再生スロットを切 り替え

🥔 メモ

- クイックビュー(p.38) /デジタルプレビュー(p.67)中も、 同じ操作で拡大表示ができます。
- 1クリック目の最初の拡大率を▶1メニュー「クイック拡大」で 設定できます。(▲ p.R26)
- ピクセル等倍に拡大したときは、画面右下に「10%」と表示されます。
 ピクセル等倍で表示されているときに 20% で画像送りをすると、
 ピクセル等倍を維持した状態で前後の画像が表示されます。
 ピクセル等倍の拡大率は、画像の記録サイズなどによって異なります。

再生方法の変更

複数画像を表示

画像を複数枚(6/12/20/35/80画像)ずつ表示しま す。(初期設定:12画像表示)

1 1画像表示で を左に回す

複数画像が表示



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	選択枠を移動	
	ページ切り替え	
112	再生スロット切り替え	
(NEO)	複数画像表示の選択画 面を表示	續 / 2 画像表示

❻ 選択消去

2 🛯 を押す

選択画像が1画像表示

🥔 メモ

80画像表示の場合は、サムネイル上に?などのアイコンは表示されません。

選択消去

- 1 「複数画像を表示」の手順1の画面で 6 を押す
- 2 消去画像を選択



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	選択枠を移動
OK	消去画像を選択/解除
	範囲指定
Kuns .	選択画像を1画像表示 🛥 で画像切り替え

画面左上には選択画像数が表示

3 @を押す

消去の確認画面が表示

4 「消去」を選択、∞を押す

🥔 メモ

- 一度に選択できるのは、500画像までです。
- プロテクトされている画像は選択できません。
- 1 画像ずつの指定と範囲指定が併用できます。
- 複数画像の選択方法は、以下の設定時も同様です。
 - 画像コピー (p.77)
 - RAW展開 (p.82)
 - プロテクト (p.83)
 - Eye-Fi選択転送(🛄 p.R34)

フォルダー表示

画像が保存されているフォルダーごとに表示します。

- 1 「複数画像を表示」の手順1の画面で をたに回す 8フォルダーずつ表示
- 2 フォルダーを選択



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	選択枠を移動
OK	フォルダー内の画像を複数画像表示
6	フォルダーごと画像を消去

フォルダー消去

1 「フォルダー表示」の手順1の画面で消去フォルダー を選択、 6 を押す

消去の確認画面が表示

2「消去」を選択、🛯を押す

フォルダーとフォルダー内画像が消去 フォルダー内にプロテクトされた画像があった場合は、すべて消 去/すべて残すを選択

🖉 🗶 🔛

フォルダー名については、『メニューリファレンス』を参照してください。(□ p.R31)

撮影日別表示

撮影した日付ごとに画像を表示します。

- 1 「複数画像を表示」の手順1の画面で MED を押す 複数画像表示の選択画面が表示
- 2 「撮影日別表示」を選択 撮影日ごとに画像が表示



ボタン・ダイヤル操作

▲ ▼	撮影日を選択
4 ►	撮影日の画像を選択
₩76	1画像表示 (☎☞ 左:撮影日別表示に戻る)
6	画像を消去

3 ∞を押す

選択画像が1画像表示



スライドショウ

メモリーカードに保存された全画像を連続して再生します。

1 再生モードパレットで 🗈 を選択

スタート画面が表示され、スライド ショウが開始



ボタン・ダイヤル操作

OK	一時停止/再開
∢ ►	前後の画像を表示
•	停止
Furt	動画の音量調節

全画像の再生が終了すると、1画像表示に戻る

🥔 メモ

スライドショウの表示については、
 1メニュー「スライドショウ」で設定します。この画面からスライドショウを開始することもできます。(
 p.R26)

画像回転

撮影時のカメラの向きに合わせて、画像に回転情報が付加され ます。▶1メニュー「画像の自動回転」がオン(初期設定)に 設定されているときは、再生時に回転情報に従って表示されま す。

回転情報は、以下の手順で変更できます。

1 画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで 🗘 を選択

画像を90°ずつ回転させた画面が表示

3 回転方向を選択、 © を押す 回転情報が更新



💋 注意

- C4メニュー「22. 回転情報の記録」をオフに設定した状態で撮影すると、画像に回転情報が付加されません。(□ p.R41)
- 次のときは、回転情報を変更できません。
 - プロテクトされた画像
 - 回転情報タグがない画像
 - ▶ 1メニュー「画像の自動回転」がオフに設定されているとき (○ p.R26)
- 動画は回転できません。



• ●1メニュー「記録設定」の「180°回転記録」がオンの状態で 撮影された画像には、そのときのカメラの向きを180°回転させ た状態の回転情報が記録されます。(□ p.R15)

画像の加工・編集

画像のコピー

SD1とSD2のメモリーカード間で画像をコピーします。

- 1 コピー元のメモリーカードの画像を1画像表示
- 2 再生モードパレットで
- 3 画像選択/フォルダー選択を選択、◎を押す
- 4 コピーする画像/フォルダーを選択 選択方法は「選択消去」(p.74)の手順2を参照
- **5 💵**を押す

保存の確認画面が表示

- 6 コピー先を選択、◎を押す
- 🥔 メモ
- コピー先には、新しいフォルダーが作成されて画像がコピーされます。

画像のサイズ変更

🕜 注意

- リサイズ/トリミングが実行できるのは、本機で撮影したJPEG 画像のみです。TIFF画像と動画は実行できません。また、RAW 画像のリサイズも実行できません。
- すでに最小サイズにリサイズ/トリミングされた画像は実行できません。

リサイズ

画像の記録サイズを変更して新規保存します。

- 1 1 画像表示で対象画像を表示
- 2 再生モードパレットで ■2 を選択 記録サイズ選択画面が表示
- 3 **< ▶ で記録サイズを選択** 元の画像より小さいサイズから選択可 能



4 ∞を押す

保存の確認画面が表示

5 SD1に保存/SD2に保存を選択、
©を押す

トリミング

画像の必要部分だけを切り取って新規保存します。

- 1 1画像表示で対象画像を表示
- 2 再生モードパレットで回を選択 トリミング範囲の指定画面が表示
- 3 トリミングする大きさ/範囲 を指定



ボタン・ダイヤル操作

Ser. 15	トリミングサイズ変更
▲▼◀►	トリミング範囲移動
INFO	アスペクト比・画像回転設定
0	トリミング範囲回転(可能時のみ)

4 ◎を押す

保存の確認画面が表示

5 SD1に保存/SD2に保存を選択、
©を押す

色モアレ補正

色モアレが発生した画像を補正します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで 🖾 を選択

補正できない画像の場合は、「この画像を処理できません」と表示

3 **→ で強度を選択、 ◎ を押す** 保存の確認画面が表示



4 SD1に保存/SD2に保存を選択、◎を押す

🛃 注意

 ・ 色モアレ補正ができるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。 RAW/TIFF画像と動画は補正できません。

78

再生・加工編

デジタルフィルター

撮影した画像を、デジタルフィルターで加工します。 以下のフィルターが選択できます。

フィルター名	効果	パラメーター
		明るさ:-8~+8
		彩度:-3~+3
ベースメイク	各八フメーターを調整	色相:-3~+3
		コントラスト:-3~+3
		シャープネス:-3~+3
		抽出色1:レッド/マゼンタ/ブ ルー/シアン/グリーン/イエ ロー
各抽山	特定の1色または2色だ	抽出色1の感度:1~5
色抽出	日本語出し、他の部分を自黒に加工	抽出色2:OFF/レッド/マゼン タ/ブルー/シアン/グリーン /イエロー
		抽出色2の感度:1~5
	トイカメラで撮影した ような画像に加工	シェーディング強度:弱/中/強
トイカメラ		ぼかし:弱/中/強
		トーンブレイク:レッド/グリー ン/ブルー/イエロー
	古い写真のような画像 に加工	調色:B3~A3
		縁取り:なし/細/中/太
ハイコントラ スト	コントラストを強調	1~5
シェーディン	周辺を暗くした画像に	シェーディングタイプ:4種類
グ	加工	シェーディング強度:-3~+3
ネガポジ反転	画像を反転	OFF/ON
ソリッドモノ カラー	特定の色だけを抽出し、 他の部分を白黒に加工	レッド/マゼンタ/ブルー/シ アン/グリーン/イエロー

フィルター名	効果	パラメーター
ハードモノク ローム	白黒にしてコントラス トを強調	弱/中/強
ドラマチック アート	独特なコントラストの 画像に加工	弱/中/強
デッサン	鉛筆で下書きしたよう な画像に加工	コントラスト : 弱/中/強 スクラッチ : OFF/ON
水彩画	絵の具で描いたような 画像に加工	強度:弱/中/強 彩度:OFF/弱/中/強
パステル	クレヨンで描いたよう な画像に加工	弱/中/強
ポスタリゼー ション	画像の階調を落として 手描きのような雰囲気 を表現	1~5
		芯の位置:-3~+3
	画像のボケ具合を操作 してミニチュア風の写 真に加工	幅:細/中/太
ミニチュア		角度:横/縦/右上がり/右下が り
		ぼかし:弱/中/強
N 75	全体をぼかしたような	ソフトフォーカス:弱/中/強
7 71	やわらかい画像に加工	シャドーぼかし:OFF/ON
	夜景や水面の光の輝き	個数:少/標準/多
クロス	など、ハイライト部に光 条を表現し、キラキラし た雰囲気を強調	大きさ:小/中/大
		角度:0/30/45/60°
フィッシュ アイ	魚眼レンズで撮影した ような画像に加工	弱/中/強
スリム	画像の縦横比を変更	-8~+8

再生・加工編

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで 0 を選択

フィルターの選択画面が表示

3 フィルターを選択

🛥 で画像切り替え可能

パラメーターの変更が不要なときは、 手順6へ



再生・加工編

4 💵 を押す

パラメーターの設定画面が表示

5 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

▲ ▼	パラメーター選択
↓	値調整

6 🛛 を押す

保存の確認画面が表示

7 フィルターを重ねる/SD1に保存/SD2に保存を 選択、 ©を押す

続けて他のフィルターを重ねて指定する場合は「フィルターを重 ねる」を選択。手順3の画面に戻る

🚺 注意

 デジタルフィルターで加工できるのは、本機で撮影したJPEG/ RAW画像のみです。TIFF画像は加工できません。



• フィルターは、20回まで重ねることができます。

フィルターの再現

フィルターをかけた画像の設定を呼び出し、他の画像に同じ フィルターを適用します。

- 1 1 画像表示でデジタルフィルター画像を表示
- 2 再生モードパレットで 🛛 を選択
- 3「フィルターを再現する」を選択、◎を押す 設定済みフィルターの履歴が表示



4 パラメーターを確認する場合
は ○○ を押す 再度 ○○ を押すと元の画面に戻る



5 ∞を押す

画像の選択画面が表示

6 ▲ でフィルター処理する画像を選択

同じメモリーカード内のフィルター処 理されていない画像のみ選択可能



7 ◙を押す

保存の確認画面が表示

8 SD1に保存/SD2に保存を選択、◎を押す

② メモ

 手順3で「元画像を探す」を選択すると、デジタルフィルターを 設定する前の画像を呼び出すことができます。

動画の編集

- 1 1画像表示で対象動画を表示
- 2 再生モードパレットでぷを選択 動画編集の設定画面が表示

3 分割箇所を指定

画面上部に分割位置の先頭コマが表示 4箇所(5分割)まで指定可能



ボタン・ダイヤル操作

	再生/一時停止
•	(一時停止中)コマ送り
▶長押し	早送り再生
•	(一時停止中)コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
Ten S	音量調節
INFO	分割位置指定/解除

消去しない場合は、手順7へ

4 🛈を押す

消去の指定画面が表示

5 **<** ▶ で選択枠を移動、 ◎ を押す 消去範囲を選択(複数選択可能) 再度 ◎ を押すと、選択解除



6 MENDを押す

手順3画面に戻る

7 ◙を押す

保存の確認画面が表示

8 SD1に保存/SD2に保存を選択、∞を押す

🥔 メモ

分割位置は、動画の時系列に沿って先頭から順に指定します。分割位置を解除するときは、逆方向(後ろから前)に順に指定します。途中に分割位置を追加/解除はできません。

RAW展開

RAW画像をJPEG/TIFFに変換します。

1 再生モードパレットで聲を選択 処理単位の選択画面が表示

2 処理単位を選択、 🗅を押す

1画像選択	1枚のみ展開
複数画像選択	最大500枚までの画像を同一設定で展開
フォルダー選択	1フォルダー内の画像を最大500枚まで同一設 定で展開

「1画像選択」は手順6へ 画像/フォルダーの選択画面が表示

3 画像/フォルダーを選択

選択方法は「選択消去」(p.74)の手順2を参照

4 💵を押す

パラメーター設定方法の選択画面が表示

5 パラメーター設定方法を選択、 ◎を押す



撮影時の設定で 展開	記録形式/JPEG記録サイズ/JPEG画質を設定
設定を変更して 展開	記録設定(記録形式/アスペクト比/JPEG記録サ イズ/JPEG画質/色空間)/レンズ補正(ディス トーション補正/倍率色収差補正/周辺光量補正 /回折補正/フリンジ補正)/ホワイトバランス/ カスタムイメージ/デジタルフィルター/HDR/ 増減感/高感度NR/シャドー補正を設定

6 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

▲ ▼	パラメーター選択
4	值調整
	(1画像選択時)画像切り替え

記録設定/レンズ補正は▶を押してから▲▼で項目選択ホワイトバランス/カスタムイメージ/デジタルフィルターは、

▶で設定画面が表示

7 ₫を押す

保存の確認画面が表示

SD1に保存/SD2に保存を選択、◎を押す 「1画像選択」の場合は継続/終了を選択、◎を押す

🕜 注意

 RAW展開できるのは、本機で撮影したRAW画像のみです。他の カメラで撮影した画像は処理できません。

🥔 メモ

- パラメーターのカスタムイメージ/ホワイトバランスでは、背景 画像の保存、デジタルプレビューはできません。
- パラメーターの「ホワイトバランス」で「マニュアル WB」を選択した場合は、(MPO)を押すと微調整画面が表示されます。
- 撮影時に●1メニュー「HDR撮影」を設定して撮影したRAW画像の場合は、パラメーターの「デジタルフィルター」は設定できません。
- 手順2で複数画像選択/フォルダー選択を選択した場合は、新たな番号のフォルダーが作成され、JPEG画像が保存されます。
- 付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」を使用すると、 パソコンでRAW展開ができます。(p.88)

プロテクト

画像を誤って消去しないようにプロテクト(保護)します。

🕜 注意

 プロテクトされた画像も、メモリーカードをフォーマットすると 消去されます。

1 再生モードパレットで **~** を選択 処理単位の選択画面が表示

2 画像選択/フォルダー選択を 選択、ODを押す



3 画像/フォルダーを選択 選択方法は「選択消去」(p.74)の手順2を参照 「フォルダー選択」は、手順5へ

4 💵 を押す

確認画面が表示

5「プロテクト」を選択、◎を押す

プロテクトを解除するときは、「解除」を選択

🖉 メモ

 メモリーカードの画像をまとめてプロテクトする場合は、▶1メ ニュー「全画像プロテクト」を選択します。(□ p.R26) 再生・加工編

AV機器との接続

HDMI端子を備えたテレビなどと接続し、撮影時にライブ ビュー画像を表示したり、再生モードで再生ができます。 HDMI端子(タイプD)を備えた市販のHDMIケーブルを用意 してください。

1 AV機器とカメラの電源を切る

2 カメラの端子カバーを開き、HDMI端子にHDMI ケーブルを接続する



- 3 HDMIケーブルをAV 機器の映像入力端子に接続 する
- 4 AV機器とカメラの電源を入れる

カメラがHDMIモードで起動、AV機器にカメラの情報が表示



AV機器と接続中は、カメラの画像モニターは表示されません。また、カメラで音量調節はできません。AV機器側で音量を調節してください。

メモ

- ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続する映像入力端子を選択してください。
- 長時間使用するときは、別売のACアダプターキットのご使用をお 勧めします。
- ・出力方式は、AV機器とカメラが対応する最大サイズが自動で選択 されます。うまく映らない場合は、▲2メニュー「HDMI出力」で 設定を変更してください。(□ p.R30)

再生・加工編



パソコンとの接続

撮影した画像は、カメラとパソコンをUSBで接続して転送し、 付属のソフトウェアで管理できます。

システム環境

パソコンと接続したり、付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」を使用するには、以下のシステム環境が必要です。

Windows

OS	Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista (以上、32bit/64bit版)	
CPU	Intel Core 2 Quad以上	
メモリ	4GB以上	
HDD	 インストール時および起動時の空き容量: 約100MB以上 画像ファイルの保存容量(1ファイルあたり): [JPEG]約25MB [TIFF]約150MB [RAW]約70MB 	
モニター	1280×1024 pixels、24bitフルカラー以上	

Macintosh

OS	Mac OS X 10.9/10.8/10.7/10.6		
CPU	Intel Core 2 Quad以上		
メモリ	4GB以上		
HDD	インストール時および起動時の空き容量: 約100MB以上 画像ファイルの保存容量(1ファイルあたり): [JPEG]約25MB [TIFF]約150MB [RAW]約70MB		
モニター	1280×1024 pixels、24bitフルカラー以上		

🥔 メモ

 本機で撮影した動画をパソコンで再生するときは、QuickTime が必要です。QuickTimeは下記アドレスからダウンロードできます。

http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

カメラとパソコンの接続

USBケーブルを使用してパソコンと接続します。 micro B端子を備えた市販のUSBケーブルを用意してください。

- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 カメラの電源を切る
- 3 カメラの端子カバーを開き、USB端子にUSBケーブ ルを接続する



4 USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

5 カメラの電源を入れる

カメラがリムーバブルディスクとしてパソコンに認識 「645Z」ダイアログが表示された場合は、「フォルダーを開いて ファイルを表示」を選択

6 カメラの画像をパソコンに保存

7 カメラをパソコンから取り外す

🕜 注意

パソコンと接続中は、カメラの操作はできません。操作を行うときは、パソコンでUSB接続を終了してからカメラの電源を切り、USBケーブルを抜いてくだい。

🥔 メモ

- パソコンと接続中は、別売のACアダプターキットのご使用をお勧めします。
- カメラをパソコンに接続するときの転送モードは、▲2メニュー 「USB接続」で設定します。(□ p.R30)初期設定は「MSC」に なっており、変更する必要はありません。
- 本機は、無線LAN(Wi-Fi通信)機能を内蔵したメモリーカード 「Eye-Fiカード」または本機対応の「FLUカード」が使用できま す。これらを使用すると、無線LAN経由でパソコンなどに画像が 転送できます。(ロ p.R34)

USB端子

micro B端子対応のUSBケーブルはUSB 3.0用とUSB 2.0用 があり、本機はどちらでも使用できます。接続する機器のホスト コントローラーがUSB 3.0に対応している場合は、USB 3.0用 ケーブルを使用すると転送速度が速くなります。

付属ソフトウェアの利用

付属のCD-ROM(S-SW150)には、「Digital Camera Utility 5」が収録されています。Digital Camera Utility 5は、パソ コンに保存した画像の管理や、本機で撮影したRAW画像の展 開(現像)や色調整などができます。

● 対応ファイル形式

.jpg (JPEG) /.tif (TIFF) /.pef (PENTAX独自フォー マットのRAWファイル)/.dng(DNGフォーマットのRAW ファイル)

インストール

付属のCD-ROMからソフトウェアをインストールします。

🥔 🗡 モ

- ご使用のOSで複数アカウントを設定している場合は、administrator (管理者)権限でログオンしてからインストールを始めてください。
- インストールの手順は、ご使用の環境によって異なります。以下 を参考にしてインストールを実行してください。

Windows 7の場合

1 パソコンの電源を入れる

他に起動しているソフトがあるときは終了させる

2 CD-ROM (S-SW150)を光学ドライブにセット 「Software Install」画面が表示

「Software Install」 画面が表示されない場合

1スタートメニューから「コンピューター」をクリック **2**光学ドライブ (S-SW150)のアイコンをダブルクリック **3**「Setup.exe」をダブルクリック

3 [32bit] または [64bit] をク リック

使用環境に合わせて選択 言語を選択する画面が表示





5 「次へ」ボタンをクリック 以降の操作は画面の指示に従う

Mac OSの場合

1 Macintoshの電源を入れる

他に起動しているソフトがあるときは終了させる

2 CD-ROM (S-SW150) を光学ドライブにセット デスクトップにCD-ROMアイコンが表示

 CD-ROMアイコンが表示されない場合
 1「Finder」メニューから「環境設定」を選択
 2「一般」タブの「CD、DVD、および iPod」のチェック ボックスをチェック

3 CD-ROM (S-SW150) アイコンをダブルクリック

4 「Software Installer」のアイコンをダブルクリック

5 [Digital Camera Utility 5] をクリック

以降の操作は画面の指示に従う



Digital Camera Utility 5の画面

Digital Camera Utility 5を起動すると、次の画面が表示されます。

🥔 🗡 🥪

- ここではWindowsの画面を例に説明します。
- Browserモード

画像の閲覧・管理や画像に関するパネルが表示されます。



● Laboratoryモード 画像調整に関するパネルが表示されます。



① メニューバー

機能の実行や各種設定を行います。 Macintoshでは、メニューはデスクトップ上部に表示されます。

② ツールバー

頻繁に使用する機能が、ボタンで用意されています。

③ ナビゲーションパネル

Browserモードのときだけ表示されます。「フォルダー」「お気に 入り」「マーク1」「マーク2」「マーク3」のパネルがあります。

④ コントロールパネル

選択した画像の撮影情報や設定のためのパネルが表示されます。 モードによって、コントロールパネルの表示が異なります。

⑤ 画像表示ページ

画像リストで選択した画像が表示されます。 複数の画像表示ページを開いているときは、タブをドラッグする と左右または上下に画像を並べることができます。Macintoshで は、「ウィンドウ」メニューの「画像を左右に整列」または「画像 を上下に整列」を選択します。

⑥ カレントフォルダー画像リスト

選択したフォルダー内のファイル一覧が表示されます。

- (7) 編集候補画像リスト 編集対象の画像が表示されます。
- 8 ステータスバー ※印中の酒日の様おたじがまニナわっ

選択中の項目の情報などが表示されます。

ヘルプの参照

Digital Camera Utility 5の詳しい使い方については、ヘルプ を参照してください。

1 ツールバーの 🛛 ボタンを押す

または「ヘルプ」メニュー→「Digital Camera Utility 5ヘルプ」 を選択

ユーザー登録のお願い

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご 協力ください。

- **1**「Software Install」画面で、「User Registration」 をクリックする
- **2** 地図画面が表示されたら、 「Japan」をクリックする



パソコンがインターネットに接続できる環境にあれば、当社ホームページのユーザー登録画面が表示されます。画面の指示に従って、登録をしてください。

ユーザー登録画面が表示されない場合は、下記アドレスから直接 アクセスしてください。

https://login.ricoh-imaging.co.jp/customer/menu.aspx

MEMO



別売アクセサリー	.94
エラーメッセージ	.97
困ったときは	.98
索引	100
アフターサービス	106

別売アクセサリー

本機で利用できる各種アクセサリーをご用意しています。アク セサリーの詳細については、当社のお客様相談センター、また はお客様窓口にお問い合わせください。 (※)の製品は同梱品と同じものです。

電源関連

バッテリー充電器キット K-BC90PJ(※) (バッテリー充電器D-BC90P・ACコードD-CO2Jのセット)

充電式リチウムイオンバッテリー D-LI90P(※)

付録

ACアダプターキット K-AC132J (ACアダプターD-AC120・AC コードD-CO2Jのセット) 家庭用電源から本機へ電源を供 給します。



フラッシュ関連

オートフラッシュ AF540FGZ || オートフラッシュ AF360FGZ || AF540FG7 IIはガイドナンバー 最大値が約54 (ISO 100·m)、 AF360FGZ IIはガイドナンバー 最大値が約36(ISO 100·m) の P-TTL 対応のオートフラッ シュです。スレーブ機能や光量比 制御撮影、ハイスピードシンクロ 撮影、ワイヤレス撮影、スローシ ンクロ撮影、後幕シンクロ撮影な どが可能です。



AF540FGZ II



AE360EG7 II

オートフラッシュ AF200FG

ガイドナンバー最大値が約20 (ISO 100・m)のP-TTL 対応 のオートフラッシュです。 AF540FG7 / AF540FG7 II / AF360FGZ/AF360FGZ IIと組 み合わせた光量比制御撮影、スロー シンクロ撮影などが可能です。



オートマクロフラッシュ AF160FC

近接撮影用のフラッシュシステムで、小さな被写体の無影撮影などができます。従来のTTLオートフラッシュ機能にも対応し、同梱のアダプターリングと組み合わせて、幅広くPENTAX製品に利用できます。



AF160FC

ホットシューアダプター FG

延長コード F5P



ホットシューアダプター Fg

オフカメラシューアダプター F 外付けフラッシュをカメラから 離して使用するときのアダプ ターと接続コードです。



オフカメラシューアダプター F

ファインダー関連

大型アイカップ 645 O-EC107(※)

交換フォーカシングスクリーン

AFフレームマット DF-80 (※)



AF方眼マット DG-80

AF黄金分割マット DK-80



0

付録

ケーブルスイッチ CS-205

ケーブルスイッチ端子に接続して、カメラのシャッター操作を行います。コードの長さは0.5mです。



リモートコントロール

リモコン撮影に使用します。 リモコン操作可能距離 カメラ正面:約4m カメラ背面:約2m

リモートコントロール F



防水リモートコントロール O-RC1



GPSユニット O-GPS1

カメラのホットシューに装着する ことで、緯度・経度・高度・方位・ 協定世界時を画像に記録すること ができます。 本機では、電子コンパスが利用でき ます。() p.R18)



ストラップ

カメラストラップ O-ST150 (※)

その他

ボディマウントキャップ 645 (※)

ホットシューカバー Fκ (※)

シンクロソケット2Pキャップ(※)

イメージセンサークリーニングキット O-ICK1

FLUカード O-FC1

無線LAN (Wi-Fi 通信)機能を内蔵 したSDメモリーカードです。ス マートフォンやタブレットなどの 通信端末と無線LAN で接続し、通 信端末を操作して撮影や画像の閲 覧ができます。(□ p.R34)



6

エラーメッセージ

エラーメッセージ	内容
カードの空き容量が ありません	メモリーカードの容量いっぱいに画像が保 存されていて、これ以上画像が保存できま せん。新しいメモリーカードをセットする か、不要な画像を消去してください。
画像がありません	メモリーカードに再生できる画像が保存さ れていません
この画像を 表示できません	本機で再生できない画像を再生しようとし ています。パソコンでは表示できる場合が あります。
カードが入っていません	メモリーカードがセットされていません。
カードが異常です	メモリーカードの異常で、撮影/再生とも にできません。パソコンでは表示できる場 合があります。 またはEye-Fiカード使用時に、Eye-Fi機能 の初期化に失敗しました。®を押してくだ さい。
カードがフォーマット されていません	フォーマットされていないメモリーカード がセットされているか、他の機器で使用し たメモリーカードがセットされています。 本機でフォーマットしてから使用してくだ さい。(p.36)
カードが ロックされています	ライトプロテクトスイッチがロックされた メモリーカードがセットされています。 (p.4)
この画像を拡大表示 できません	拡大できない画像を拡大表示しようとして います。
この画像は プロテクトされています	消去しようとしている画像がプロテクトさ れています。画像のプロテクトを解除して ください。(p.83)

エラーメッセージ	内容	
電池容量がたりないため ピクセルマッピングを 行えません	ドクセルマッピング/センサークリーニン	
電池容量がたりないため クリーニングを 行えません	グ/アップデート実行時にバッテリー容量 が足りない場合に表示されます。十分に充 電したバッテリーを使用してください。	
電池容量がたりないため アップデートを行えません		
ファイルが壊れているため アップデートを行えません	アップデートファイルが壊れているため実 行できません。アップデートファイルを再 度ダウンロードしてください。	
フォルダーが作成できません	最大のフォルダー No. (999) が使用され ているため、画像が保存できません。新し いメモリーカードをセットするか、メモ リーカードをフォーマットしてください。	
画像を保存 できませんでした	メモリーカードの異常で、撮影した画像が 保存できません。	
正しく処理できませんでした	マニュアルホワイトバランス調整に失敗し ました。もう一度やり直してください。	
これ以上 選択できません	選択消去/プロテクト/RAW 展開/画像 コピー/Eye-Fi画像転送で、上限枚数以上 を選択しようとしています。	
処理できる 画像がありません	デジタルフィルターを適用できる画像、ま たはRAW展開できる画像がありません。	
この画像を処理できません	他のカメラで撮影した画像に対してデジタ ルフィルター/色モアレ補正/リサイズ/ トリミング/マニュアルWB登録/RAW 展開/動画編集を実行した場合、または最 小サイズの画像に対してリサイズ/トリミ ングを実行した場合に表示されます。	
このモードでは 設定することができません	機能に制限がある露出モードのときに、設 定できない機能を設定しようとしていま す。	
カメラが高温になりました 電源をオフします	カメラ内部が高温になったため、電源が切 れます。しばらくしてから電源を入れてく ださい。	

6

エラーメッセージ	内容
Eye-Fi通信設定を セレクトにしてください	▲3メニュー「通信カード」の「動作モード」が「SELECT」に設定されていないため、選択転送ができません。(□ p.R34)
転送できる画像がありません	Eye-Fiカード使用時に転送可能な画像があ りません。
このフォルダーは 選択できません	選択したフォルダー内に規定以上のファイ ル数があるため、選択ができません。

💋 注意

メモリーカードに関するエラーメッセージは、使用しているカードスロットごとに表示されます。メッセージが表示された場合には、それぞれのカードスロットに対して適切な対処を行ってください。

困ったときは

静電気などの影響により、まれにカメラが正しい動作をしなく なることがあります。このような場合には、バッテリーを入れ 直してみてください。また、ミラーが上がったままになった場 合には、バッテリーを入れ直してから電源を入れるとミラーが 下がります。これらを行いカメラが正常に動作すれば故障では ありませんので、そのままお使いいただけます。 修理を依頼される前に、次の点をご確認ください。

現象	原因	対処方法
電源がふらたい	バッテリーが正しく 入っていない	バッテリーの挿入方向を確認し てください。
电応が入りない	バッテリーの残量がな い	バッテリーを充電してくださ い。
シャッターがき	メモリーカードに空き がない	空き容量のあるメモリーカード をセットするか、不要な画像を 消去してください。
117661	処理中	処理が終わるまで待ってくださ い。
ピントが合わな い	オートフォーカスが苦 手なものを被写体にし ている	コントラストが低いもの(青空 や白壁など)、暗いもの、細かい 模様のもの、速く動いているも の、窓やネット越しの風景など は、AFが苦手なものです。 撮りたいものと同じ距離にある 別のものにフォーカスロックし てから、撮りたい構図で撮影し ます。または、MFを使用して ください。
	被写体が近すぎる	被写体から離れて撮影してくだ さい。
フォーカスロッ クできない	ライブビューのAF モードが 🔤(追尾) になっている	「コントラストAF」を図/ 翻 / 凾 / 回 に設定してくださ い。(p.46)

現象	原因	対処方法
パソコンと接続 しても認識され ない	転送モードが「PTP」 になっている	▲2 メニュー「USB 接続」を 「MSC」に設定してください。 (□ p.R30)
画像にゴミが写 り込む	CMOS センサーに汚 れやほこりが付着して いる	▲4 メニュー「ダストリムーバ ル」を実行してください。電源 ON / OFF時に毎回作動させる こともできます。(□ p.R37) それでも解消しない場合は、「セ ンサークリーニング」を参照し てください。(□ p.R37)
撮影画像や画像 モニターの表示 に、欠けや常時 点灯する箇所が ある	CMOS センサーの画 素に欠けがある	▲4メニュー「ピクセルマッピング」を実行してください。 (□ p.R35) 補完処理は30秒ほど時間がかかるので、十分に充電したバッテリーを使用してください。

索引

	記号 ○ メニュー
6	数字 180°回転記録
付録	AAC アダプター

AFロック時の AE-L R39 AV機器
B B時の撮影方法
C C (AF モード)
D Digital Camera Utility 5 90, 91 DNG R15 D-Range 設定 R16
E Exif R33 Eye-Fi カード 33, R34 Eye-Fi 画像転送 R34
F FLUカード 33, 96, R34
G GPS R18 GPS ユニット 96
H HDMI 出力

HDR 撮影 R16, R24
 SO 感度
J JPEG R15
L Language/言語34, R28 LCD 設定R30 LS レンズ29
M M.UP
P PEF
Q QuickTime
R RAW R15 RAW/Fx ボタン R20

RAW 追加保存	38,	39, F	219
RAW 展開			82
RGB ヒストグラム			21

S

SD メモリーカード	33
Shake Reduction	63
Shake Reduction の動作 F	343
sRGB F	341
Sv モード	48

Т

TAv モード	48
TIFF 82, F	15
TTL 位相差検出式	44
Tv モード	48

U

USB 接続	87, R30
USB 端子	
U1 / U2 / U3 €− ⊢ <i>⊢</i>	48, R22
USFR モード啓録	R22

W

WBの光源調整範囲	R40
Wi-Fi 通信	R34
Windows	86
X X モード	48

ガイド表示	38, R30
顔検出(コントラストAF)	
拡大表示	
各部の名称	
画質	R15
カスタムイメージ	68
カスタムメニュー F	11, R39
画像回転	
画像コピー	77
画像仕上	68
画像消去	
画像の自動回転	R26
画像モニター	15
画素数	R15
画面表示	R30
感度	47
感度 AUTO 設定	R17
感度アップポイント	R17
感度優先自動露出モード	48
キー (カスタムイメージ)	68
キー操作のロック	R43
輝度ヒストグラム	
機能の設定	40
強制発光	65
記録形式	R15
記録サイズ F	15, R24
記録設定 F	15, R24
銀残し (カスタムイメージ).	68
クイック拡大	R26
クイックビュー	38, R19
グリーンボタン	R20

101

グリッド表示 R19, R26 クロス(デジタルフィルター) 79 クロスプロセス(カスタムイメージ)
69 ケーブルスイッチ 95 ケーブルスイッチ端子 11 ケルビン 55, R40 言語設定 34, R28 現在地 34, R29 光学プレビュー 67 高感度 NR R17 光量補正 65 コンティニュアスモード 44 コントラスト (カスタムイメージ)
58 コントラスト AF R18 コントラスト検出式 44 コントロールパネル 17, 41
さ行サイズ変更77再生39再生情報表示選択19再生スロット39再生メニューR8, R26再生モード39再生モードパレット72, R13彩度(カスタムイメージ)68撮影38撮影可能枚数R49撮影者名R33

撮影情報	15
撮影情報表示選択	18
撮影待機状態	15
撮影日別表示	75
撮影メニュー R5, F	R15
シェーディング(デジタルフィルタ	7—)
	79
色相 (カスタムイメージ)	68
時刻切替F	R29
システム環境	86
自動回転F	730
自動時刻修正	R18
視度調整	37
絞り優先自動露出モード	48
シャープネス(カスタムイメージ)	
	00
	68
	- ド
シャッター & 絞り優先自動露出モ-	68 -ド 48
シャッター & 絞り優先自動露出モ-	68 -ド 48 48
シャッター & 絞り優先自動露出モ- シャッター優先自動露出モード シャドー補正	68 ード 48 48 16
シャッター & 絞り優先自動露出モ- シャッター優先自動露出モード シャドー補正 十字キー	68 -ド 48 48 316 41
シャッター & 絞り優先自動露出モ- シャッター優先自動露出モード シャドー補正	68 -ド 48 48 R16 41 R42
シャッター & 絞り優先自動露出モ- シャッター優先自動露出モード シャドー補正	68 -ド 48 48 30
シャッター & 絞り優先自動露出モ- シャッター優先自動露出モード シャドー補正	68 -ド 48 48 41 41 742 30 30
シャッター & 絞り優先自動露出モ- シャッター優先自動露出モード シャドー補正	68 -ド 48 48 41 41 41 41 30 30 30
シャッター & 絞り優先自動露出モ- シャッター優先自動露出モード シャドー補正	68 - F 48 48 41 41 742 30 30 716 745
シャッター & 絞り優先自動露出モ- シャッター優先自動露出モード シャドー補正	68 - F 48 48 41 41 42 30 30 30 316 345 327
シャッター & 絞り優先自動露出モー シャッター優先自動露出モード シャドー補正	68 - F 48 41 41 30 30 30 30 30 30 32 20
シャッター& 絞り優先自動露出モード シャッター優先自動露出モード シャドー補正 シャドー補正 F 十字キー F 十字キーの動作 F 充電 F 充電時間 F 周辺光量補正 F 指去 F 詳細情報表示 F 詳細設定メニュー R9, F	68 48 48 416 41 30 30 316 30 316 327 20 828
シャッター& 絞り優先自動露出モージャッター優先自動露出モードシャッター優先自動露出モードシャドー補正ヤ字キー十字キーの動作下電充電時間周辺光量補正月げ未73, F詳細情報表示詳細設定メニュー解明ボタン	68 - K 48 416 41 30 30 30 316 345 327 20 328 321

初期設定 34	, R5
白とび警告 R19,	R26
シングルモード	. 44
シンクロコード	. 64
シンクロソケット	. 64
シンクロソケット 2P キャップ	. 64
人物 (カスタムイメージ)	. 68
スーパーインポーズ	R40
水彩画 (デジタルフィルター)	. 79
ステータススクリーン	. 16
ステレオマイク	. 11
ストラップ	. 26
スピーカー	. 11
スポット (コントラスト AF)	. 46
スポット (測距点)	. 45
スポット測光	. 47
スライドショウ	R26
スリム(デジタルフィルター)	. 79
スローシンクロ	. 65
静止画/動画切替レバー 38	8,51
設定値登録(ホワイトバランス)…	. 54
セルフタイマー	. 57
セレクト (コントラスト AF)	. 46
セレクト (測距点)	. 45
セレクトエリア拡大(測距点)	. 45
全画像消去	R27
全画像プロテクト	R26
センサークリーニング	R37
選択消去	. 74
ゾーンセレクト(測距点)	. 45
増減感	. 82

像面位置マーク	. 11
測距点	. 45
測距点と露出の関連付	R39
測光作動時間	R39
測光タイマー 47,	R39
測光モード	. 47
ソフト (デジタルフィルター)	. 79
ソリッドモノカラー (デジタルフィ	ィル
ター)	. 79

た行
ダイナミックレンジ R16
ダイヤル
ダイヤル指標 38
太陽光 (ホワイトバランス) 53
ダイレクトキー 41, R13
多重露出
ダストアラート R36
ダストリムーバル R37
縦位置18
多点オート (コントラスト AF) 46
中央重点測光 47
昼光色蛍光灯(ホワイトバランス)
昼白色蛍光灯(ホワイトバランス)
調色 (カスタムイメージ)
長秒時 NR R17
著作権者名 R33
著作権情報 R33
追尾 (コントラスト AF) 46

通信カード	
電源 5 電源 34 電源 R34 電子音 R25 電子コンパス 18, R16 電子水準器 18, 23, R15 電子ダイヤル R26 電池容量 3 トイカメラ(デジタルフィルター)	3 4 4 9 8 9 7 1
75 動画編集 8 動画メニュー R8, R24 動画モード 5 同梱品 10 動作確認 38 都市名 R26 ドライブモード 56 ドラマチックアート(デジタルフィル ター) 76 トリミング 76 曇天(ホワイトバランス) 56	
な行 ナチュラル (カスタムイメージ) 68	3

夏時間	R29 R28) . 79 R17
は行	
バージョン情報	R38
ハードモノクローム(デジタルフ	ィル
ター)	. 79
ハイコントラスト(デジタルフィ)	ν
ター)	. 79
配色	R30
ハイライト補正	R16
倍率色収差補正	R16
白色蛍光灯(ホワイトバランス)…	. 53
白熱灯(ホワイトバランス)	. 53
白熱灯下の AWB	R40
パステル(デジタルフィルター)	. 79
パソコン	. 87
パソコンとの接続	. 86
バッテリー	30
バッテリー容量	. 31
バッファ RAW 保存	. 40
バルブ露出モード	. 48
日陰(ホワイトバランス)	. 53
ピクセルマッピング	R35
ヒストグラム表示21,	R19
表示言語 34,	R28
表示パネル	. 23
表示パネルの照明	R41

	ファイル No ファイル形式 ファイル名 ファインダー フィッシュアイ(デジタルフィル	R33 R15 R32 22 ター) 79
6 付録	フィッシュアイ(テシタルフィル フィルター効果(カスタムイメージ) 風景(カスタムイメージ) フォーカシングスクリーン フォーカスアシスト フォーカスマシード フォーカスモード フォルダー消去 フォルダー満去 フォルダー表示 フォルダー表 クォルダー表 クォルダー表 フォルダー表 フォルダー表 クォルダー表 フォルダー表 フォルダー表 フォルダー表 フォルダー表 フォルダー表 フォルダー表 フォルダー表 フォーシュ クラッシュ フラッシュ フラッシュ </th <th>ター) 79 68 95 95 44 95 44 75 75 75 74 75 74 75 74 75 74 94 62 48 48 48 48</th>	ター) 79 68 95 95 44 95 44 75 75 75 74 75 74 75 74 75 74 94 62 48 48 48 48
	フラッシュモード フリッカー低減 フリンジ補正	65 R34 82

フレームレート
パレプ 91 保護 91 保護 83 ポスタリゼーション(デジタルフィル ター) 79 ボタン 12 ボタンカスタマイズ R20 ポップチューン(カスタムイメージ) 00
68 ほのか (カスタムイメージ)
 ま行 マイク
雅 (カスタムイメージ) 68

ミラーアップ	63
ミラーアップ操作	. R42
ミレッド55	5, R40
無線 LAN	. R34
メニュー 4	12, R5
メニュー選択の記憶	<u>2,</u> R41
メニューの操作 42	2, R14
メモリーカード	33
モードダイヤル	38, 49
モードタイヤルロックボタン	38
モードメモリ	. R22
	. R29
), R29
	00
や行 ユーザー設定モード	3, <mark>R22</mark> 91
ら行	
ライブビュー 16.39	9 B18
リサイクル	31
リサイズ	77
リセット R35	5, R43
リバーサルフィルム(カスタム-	ィメー
ジ)	68
リモコン 5	57, 96
リモコン時の AF	. R41
レトロ(デジタルフィルター)	79
レバー	12
レンズ	26

レンズ適応	З
レンズ補正	6
連続撮影 56	6
連動外の自動補正 B39	g
道希設定 B3	3
	⊿
	1
	ו ר
露出設定(<u>劉</u> 囲) R24	4
露出設定ステップ 49, R39	9
露出値記憶 50	C
露出バー	2
露出ブラケット62	2
露出補正	C
露出モード	З
露出モード(USFR モード)	
BI5 B2	Q
	5
わ行	
$ \nabla = \mu F \varphi T h $ B2	R
	1
ノノノツノ NAVVT NC	I.

ワンプッシュブラケット..... R40



アフターサービス

- 1 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料 修理いたしますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお 急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。 修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっ かり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご 利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメ モを添付していただけると原因分析に役立ちます。
- 2 保証期間中[ご購入後1年間]は、保証書[販売店印および購入年月日が記入されているもの]をご提示ください。 保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の 運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
- 3 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - ・使用上の誤り(使用説明書記載以外の誤操作等)により 生じた故障
 - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・ 分解による故障
 - 火災・天災・地変等による故障
 - 保管上の不備(高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等)や手入れの不備(本体内部に砂・ほこり・液体かぶり等)による故障
 - ・修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合
 - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならび に記載事項を訂正された場合

- 4 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。な お、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担と させていただきます。
- 5 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
- 6 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

6
MEMO

MEMO

フォトスクール・写真クラブのご案内

http://www.ricoh-imaging.co.jp/family/

ペンタックスリコーファミリークラブは、弊社製品をご愛用いただいている方に向けて Pentax Ricoh の、弊社が主催する写真クラブです。クラブ誌や会員公募による写真年鑑の発行のほか、 各種フォトスクールを開催しています。たくさんの会員特典や楽しい企画であなたのフォ トライフをバックアップします。詳しくは、ホームページをご覧いただくか、ペンタック スリコーファミリークラブ事務局までお問い合わせください。

ペンタックスリコーファミリークラブ事務局

TEL 03-3580-2060 FAX 03-3580-2065 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 三宅坂ビル 営業時間 9:00~17:00(土・日・祝日、弊社休業日を除く)



お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。 付属のCD-ROM(p.91)または当社ホームページから登録が可能です。

ホームページアドレス

本製品に関するお問い合わせ

お客様相談センター

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0008(代) 営業時間 9:00~17:30(平日) 10:00~17:00(土・日・祝日)(年末年始、ビル点検日を除く)

修理受付

修理受付センター/ピックアップリペアサービス申し込み

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0014(代) 営業時間 9:00~17:00(+・日・祝日、弊社休業日を除く) ※ ピックアップリペアサービスは、全国(離島など一部地域を除く)どこでも修理品梱包資材のお届け・修理品の引き取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する

サービスです(全国一律料金)。インターネットからもお申し込みいただけます。 なお、弊社修理受付後のお問い合わせは、東京サービスヤンターにて承ります。

東京サービスセンター(宅配)(郵送)

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階 営業時間 9:00~17:30(+・日・祝日、弊社休業日を除く)

大阪サービスセンター(窓口)(宅配)(郵送)

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階 営業時間 9:00~17:00(+・日・祝日、弊社休業日を除く)

ショールーム・ギャラリー

リコーイメージングスクエア新宿(修理受付可)

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB(中地下1階) 営業時間 10:30~18:30 (毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く)

リコーイメージングスクエア銀座

東京都中央区銀座5-7-2 三愛ドリームセンター9階 営業時間 11:00~19:00 (毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く)

リコーイメージング株式会社 〒174-8639 東京都板橋区前野町2-35-7

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。 53072

BOIDTC14 Printed in Philippines

http://www.ricoh-imaging.co.jp/

http://www.ricoh-imaging.co.ip/japan/support/

ナビダイヤル 0570-001313 **発芽院** (市内通話料金でご利用いただけます。)

http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair.html

(市内通話料金でご利用いただけます。)

TEL 03-3960-5140(代) FAX 03-3960-5147

TEL 06-6271-7996(代) FAX 06-6271-3612

TEL 03-3348-2941 (代) FAX 03-3345-8076

TEL 03-3289-1521

ジナビダイヤル 0570-001301